

2 0 2 3 年 度

履 修 案 内

履修等に関する注意事項

授 業 科 目 一 覧

東京大学大学院総合文化研究科

2023年度総合文化研究科学事（各種手続等）日程

月	日	事 項
4	3 (月) 3 (月) 5 (水) 5 (水) 5 (水) 12 (水)	学生証交付及び履修案内配付期間【～4/5(水)】 入・進学者ガイダンス期間（各専攻別）【～4/4(火)】 Sセメスター授業開始【～7/19(水)】 S1ターム授業開始【～5/31(水)】 履修科目登録手続期間（Sセメスター・S1ターム・S2ターム・通年）【～5/2(火)】 （事前に指導教員の承認を得ること） 東京大学入学式
5	31 (水)	S1ターム授業終了
6	5 (月) 13 (火) 16 (金) 19 (月) 29 (木)	S2ターム授業開始【～7/26(水)】 博士課程進学希望者出願期間（2023年10月進学希望者（広域））【～6/19(月)】 修士論文題目届提出期間（2023年度秋季修了予定者（広域））【～6/21(水)】 大学院外国人研究生・大学院研究生在学期間延長願及び退学願提出期間【～7/18(火)】 （2023年9月在学期間満了者） 修士論文提出期間（2023年度秋季修了予定者（広域））【～7/3(月)】
7	19 (水) 26 (水)	Sセメスター授業終了 S2ターム授業終了
8	3 (木)	夏季休業開始【～9/30(土)】
9	22 (金)	秋季学位記授与式
10	2 (月) 3 (火) 3 (火) 3 (火) 6 (金) 25 (水)	秋季入学式 Aセメスター授業開始【～1/23(火)】 A1ターム授業開始【～11/27(月)】 履修科目登録手続期間（Aセメスター・A1ターム・A2ターム）【～10/23(月)】 （事前に指導教員の承認を得ること） 博士論文題目届提出期間（2024年3月修了予定者（言語・超域・地域・国際））【～10/13(金)】 修士論文題目届提出期間（2024年3月修了予定者（言語・超域・地域・国際））【～10/31(火)】
11	2 (木) 14 (火) 27 (月) 29 (水) 30 (木) 30 (木)	博士論文題目届提出期間（2024年3月修了予定者（広域））【～11/9(木)】 博士論文提出期間（2024年3月修了予定者（言語・超域・地域・国際））【～11/24(金)】 A1ターム授業終了 A2ターム授業開始【～1/30(火)】 博士論文提出期間（2024年3月修了予定者（広域））【～12/7(木)】 修士論文題目届提出期間（2024年3月修了予定者（広域））【～12/7(木)】
12	1 (金) 1 (金) 28 (木)	修士論文提出期間（2024年3月修了予定者（言語・超域・地域・国際））【～12/8(金)】 博士課程進学希望者出願期間（2024年4月進学希望者（言語・超域・地域・国際・広域））【～12/11(月)】 冬季休業開始【～1/3(水)】
1	5 (金) 18 (木) 23 (火) 30 (火)	修士論文提出期間（2024年3月修了予定者（広域））【～1/11(木)】 修士修了及び博士進学口述試験日程発表 ※正午に UTAS に掲示 Aセメスター授業終了 A2ターム授業終了
2	1 (木) 1 (木) 11 (日) 27 (火)	在学期間延長届及び退学願提出期間（2024年3月標準修業年限満了者）【～2/29(木)】 大学院外国人研究生・大学院研究生在学期間延長願及び退学願提出期間【～2/29(木)】 （2024年3月在学期間満了者） 春季休業開始【～3/31(日)】 大学院研究生出願期間【～3/1(金)】
3	7 (木) 8 (金) 21 (木)	2024年3月21日付け修了者発表 ※正午に UTAS に掲示 入・進学手続期間締切 春季学位記授与式

※1) 上記日程表においては、専攻名を次のように略して表記している。

〔言語情報科学＝言語、超域文化科学＝超域、地域文化研究＝地域、国際社会科学＝国際、広域科学＝広域〕

2) 専攻により日程が異なる場合があるので、注意すること。

3) 修士課程又は博士課程の区別がないものは、両課程の共通事項である（研究生には該当しない）。

4) 上記日程に変更がある場合は、その都度掲示により周知する。

目 次

○ 学事（各種手続等）日程

1. 授業等日程		2
2. 履修・学籍関係等に関する注意事項（概要）		4
3. 履修に関する手続		6
4. 休学等の手続		1 1
5. （1）海外渡航をする場合の手続		1 3
（2）外国の大学院が行う通信教育における 授業科目を日本国内で履修し単位を修 得した場合		
6. 修士学位論文提出要領		1 5
7. 博士学位論文提出要領（課程博士用）		1 9
8. 学問と知の倫理について		2 3
9. 授業科目一覧		2 5

2023年度 総合文化研究科 授業等日程

◆ 4月～8月 授業等日程 ◆

- 授業休止日 東京大学春季入学式 4月12日(水)全日
五月祭準備 5月12日(金)午後
○祝休日等利用日 S1ターム定期試験予備日 6月 3日(土)全日

【セメスター科目】

◎ Sセメスター

- 授業日程 授 業 4月 5日(水)～7月19日(水)
※6月1日(木)、6月2日(金)はセメスター科目の授業はなし
定期試験 7月20日(木)～8月2日(水)〔8月2日(水)は予備日〕
※7月22日(土)～23日(日)、29日(土)～30日(日)を除く。
○振替授業日 5月29日(月)午後は、月曜日の授業は行わずに金曜日の授業を行う。
○補講日 5月29日(月)午前、5月30日(火)全日、7月18日(火)全日、7月19日(水)全日

○授業日

		第1回	第2回	第3回	第4回	第5回	第6回	第7回	第8回	第9回	第10回	第11回	第12回	第13回
月曜日	AM PM	4/10	4/17	4/24	5/1	5/8	5/15	5/22	6/5	6/12	6/19	6/26	7/3	7/10
火曜日	AM PM	4/11	4/18	4/25	5/2	5/9	5/16	5/23	6/6	6/13	6/20	6/27	7/4	7/11
水曜日	AM PM	4/5	4/19	4/26	5/10	5/17	5/24	5/31	6/7	6/14	6/21	6/28	7/5	7/12
木曜日	AM PM	4/6	4/13	4/20	4/27	5/11	5/18	5/25	6/8	6/15	6/22	6/29	7/6	7/13
金曜日	AM PM	4/7	4/14	4/21	4/28	5/12 5/19	5/19 5/26	5/26 5/29(月)	6/9	6/16	6/23	6/30	7/7	7/14

【ターム科目】

◎ S 1ターム

- 授業日程 授 業 4月 5日(水)～5月31日(水)
定期試験 6月 1日(木)～6月 3日(土)〔6月3日(土)は予備日〕
○振替授業日 5月29日(月)午後は、月曜日の授業は行わずに金曜日の授業を行う。
○補講日 5月29日(月)午前、5月30日(火)全日

○授業日

週1コマ		第1回	第2回	第3回	第4回	第5回	第6回	第7回						
月曜日	AM PM	4/10	4/17	4/24	5/1	5/8	5/15	5/22						
火曜日	AM PM	4/11	4/18	4/25	5/2	5/9	5/16	5/23						
水曜日	AM PM	4/5	4/19	4/26	5/10	5/17	5/24	5/31						
木曜日	AM PM	4/6	4/13	4/20	4/27	5/11	5/18	5/25						
金曜日	AM PM	4/7	4/14	4/21	4/28	5/12 5/19	5/19 5/26	5/26 5/29(月)						
週2コマ		第1回	第2回	第3回	第4回	第5回	第6回	第7回	第8回	第9回	第10回	第11回	第12回	第13回
月・木曜日	AM PM	4/6	4/10	4/13	4/17	4/20	4/24	4/27	5/1	5/8	5/11	5/15	5/18	5/22
火・金曜日	AM PM	4/7	4/11	4/14	4/18	4/21	4/25	4/28	5/2	5/9	5/12 5/16	5/16 5/19	5/19 5/23	5/23 5/26

◎ S 2ターム

- 授業日程 授 業 6月 5日(月)～7月26日(水)
定期試験 7月27日(木)～8月2日(水)〔8月2日(水)は予備日〕
※7月29日(土)、7月30日(日)を除く。
○振替授業日 なし
○補講日 7月18日(火)全日、7月19日(水)全日

○授業日

週1コマ		第1回	第2回	第3回	第4回	第5回	第6回	第7回						
月曜日	AM PM	6/5	6/12	6/19	6/26	7/3	7/10	7/24						
火曜日	AM PM	6/6	6/13	6/20	6/27	7/4	7/11	7/25						
水曜日	AM PM	6/7	6/14	6/21	6/28	7/5	7/12	7/26						
木曜日	AM PM	6/8	6/15	6/22	6/29	7/6	7/13	7/20						
金曜日	AM PM	6/9	6/16	6/23	6/30	7/7	7/14	7/21						
週2コマ		第1回	第2回	第3回	第4回	第5回	第6回	第7回	第8回	第9回	第10回	第11回	第12回	第13回
月・木曜日	AM PM	6/5	6/8	6/12	6/15	6/19	6/22	6/26	6/29	7/3	7/6	7/10	7/13	7/20
火・金曜日	AM PM	6/6	6/9	6/13	6/16	6/20	6/23	6/27	6/30	7/4	7/7	7/11	7/14	7/21

授業時間(90分)				授業時間(105分)			
1時限	8時30分	～	10時00分	1時限	8時30分	～	10時15分
2時限	10時25分	～	11時55分	2時限	10時25分	～	12時10分
3時限	13時15分	～	14時45分	3時限	13時00分	～	14時45分
4時限	15時10分	～	16時40分	4時限	14時55分	～	16時40分
5時限	17時05分	～	18時35分	5時限	16時50分	～	18時35分
6時限	19時00分	～	20時30分	6時限	18時45分	～	20時30分

2023年度 総合文化研究科 授業等日程

◆10月～2月 授業等日程◆

○授業休止日	駒場祭	11月24日(金)全日
	駒場祭片付け	11月27日(月)午前
	大学入学共通テスト準備	1月12日(金)全日
○祝休日等利用日	月曜日の授業を行う	10月 9日(月・祝)全日
	A1ターム定期試験予備日	12月 2日(土)全日
	Aセメスター/A2ターム定期試験予備日	2月10日(土)全日

【セメスター科目】

◎Aセメスター

○授業日程	授 業	10月3日(火)～1月23日(火)
		※11月28日(火)は、セメスター科目の授業はなし
	定期試験	1月24日(水)～2月2日(金)〔2月10日(土)を予備日とする。〕
		※1月27日(土)、1月28日(日)を除く。

○振替授業日 11月21日(火)は、火曜日の授業は行わずに金曜日の授業を行う。

○補講日 11月22日(水)全日、11月27日(月)午後、1月17日(水)全日、1月18日(木)全日、1月23日(火)全日

○授業日

		第1回	第2回	第3回	第4回	第5回	第6回	第7回	第8回	第9回	第10回	第11回	第12回	第13回
月曜日	AM PM	10/9	10/16	10/23	10/30	11/6	11/13	11/20	12/4	12/11	12/18	12/25	1/15	1/22
火曜日	AM PM	10/3	10/10	10/17	10/24	10/31	11/7	11/14	12/5	12/12	12/19	12/26	1/9	1/16
水曜日	AM PM	10/4	10/11	10/18	10/25	11/1	11/8	11/15	11/29	12/6	12/13	12/20	12/27	1/10
木曜日	AM PM	10/5	10/12	10/19	10/26	11/2	11/9	11/16	11/30	12/7	12/14	12/21	1/4	1/11
金曜日	AM PM	10/6	10/13	10/20	10/27	11/10	11/17	11/21(火)	12/1	12/8	12/15	12/22	1/5	1/19

【ターム科目】

◎A1ターム

○授業日程	授 業	10月3日(火)～11月21日(火)
	定期試験	11月28日(火)〔12月2日(土)を予備日とする。〕
○振替授業日	11月21日(火)は、火曜日の授業は行わずに金曜日の授業を行う。	
○補講日	11月22日(水)全日、11月27日(月)午後	

○授業日

週1コマ		第1回	第2回	第3回	第4回	第5回	第6回	第7回						
月曜日	AM PM	10/9	10/16	10/23	10/30	11/6	11/13	11/20						
火曜日	AM PM	10/3	10/10	10/17	10/24	10/31	11/7	11/14						
水曜日	AM PM	10/4	10/11	10/18	10/25	11/1	11/8	11/15						
木曜日	AM PM	10/5	10/12	10/19	10/26	11/2	11/9	11/16						
金曜日	AM PM	10/6	10/13	10/20	10/27	11/10	11/17	11/21(火)						
週2コマ		第1回	第2回	第3回	第4回	第5回	第6回	第7回	第8回	第9回	第10回	第11回	第12回	第13回
月・木曜日	AM PM	10/5	10/9	10/12	10/16	10/19	10/23	10/26	10/30	11/2	11/6	11/9	11/13	11/16
火・金曜日	AM PM	10/3	10/6	10/10	10/13	10/17	10/20	10/24	10/27	10/31	11/7	11/10	11/14	11/17

◎A2ターム

○授業日程	授 業	11月29日(水)～1月30日(火)
	定期試験	1月31日(水)～2月2日(金)〔2月10日(土)を予備日とする。〕
○振替授業日	なし	
○補講日	1月17日(水)全日、1月18日(木)全日、1月23日(火)全日	

○授業日

週1コマ		第1回	第2回	第3回	第4回	第5回	第6回	第7回						
月曜日	AM PM	12/4	12/11	12/18	12/25	1/15	1/22	1/29						
火曜日	AM PM	12/5	12/12	12/19	12/26	1/9	1/16	1/30						
水曜日	AM PM	11/29	12/6	12/13	12/20	12/27	1/10	1/24						
木曜日	AM PM	11/30	12/7	12/14	12/21	1/4	1/11	1/25						
金曜日	AM PM	12/1	12/8	12/15	12/22	1/5	1/19	1/26						
週2コマ		第1回	第2回	第3回	第4回	第5回	第6回	第7回	第8回	第9回	第10回	第11回	第12回	第13回
月・木曜日	AM PM	11/30	12/4	12/7	12/11	12/14	12/18	12/21	12/25	1/4	1/11	1/15	1/22	1/25
火・金曜日	AM PM	12/1	12/5	12/8	12/12	12/15	12/19	12/22	12/26	1/5	1/9	1/16	1/19	1/26

授業時間(90分)				授業時間(105分)			
1時限	8時30分	～	10時00分	1時限	8時30分	～	10時15分
2時限	10時25分	～	11時55分	2時限	10時25分	～	12時10分
3時限	13時15分	～	14時45分	3時限	13時00分	～	14時45分
4時限	15時10分	～	16時40分	4時限	14時55分	～	16時40分
5時限	17時05分	～	18時35分	5時限	16時50分	～	18時35分
6時限	19時00分	～	20時30分	6時限	18時45分	～	20時30分

履修・学籍関係等に関する注意事項（概要）

（1）修了要件・教育課程等について ＜詳細は p.6～/p.25～＞

修了要件及び教育課程については、大学院便覧に掲載の大学院学則第2章及び第3章を参照すること。
また、修了要件（単位）及び所属専攻（分野）・系・プログラムの定めた必修の単位は、「履修に関する手続（p.6～）」及び「授業科目一覧（p.25～）」を確認すること。

（2）修業年限・在学年限について

【修業年限（大学院学則第2条第5項）】

〔大学院修了のため最低在学しなければならない期間（休学期間を除く）〕

修士課程：2年 博士後期課程：3年

※各課程に入・進学し上記の年限が経過した後も引き続き在学する場合は、「在学期間延長届」を提出し、退学を希望する場合は、「退学願」を提出すること。どちらも提出しなかった場合は、在学年限まで在学扱いとなる。

【在学年限（大学院学則第27条）】

〔最長で在学できる期間（休学期間は除く）〕

修士課程：3年 博士後期課程：5年

※在学年限が満了する場合も「退学願」を提出すること。

（3）休学等について ＜詳細はp.11～＞

【休学期間（大学院学則第29条）】

修士課程：2年 博士後期課程：3年

※休学をすると、その期間は修業年限に含めないので注意すること。

【休学・復学手続等（学部通則第6章）】

休学及び復学手続の詳細は、「休学等の手続（p.11～）」を確認すること。休学（延長）手続を怠った場合は、願い出の時期によっては授業料納付の義務が生じるので留意すること。

（4）海外留学・海外渡航について ＜詳細はp.13～＞

海外留学・海外渡航をする場合（短期間（2ヶ月以内）の渡航を含む）には、教務課総合文化大学院チームにおいて必要な手続きをすること。手続きの詳細は、「海外渡航をする場合の手続（p.13～）」を参照すること。

（5）学生への連絡について

教務課からの連絡や、休講・教室変更等については、総合文化大学院生ホームページや次ページ（7）UTAS（学務システム）を確認すること。

<https://www.c.u-tokyo.ac.jp/graduate/index.html>（QRコード1）

※留学生向け情報と海外留学奨学金（留学・海外渡航の情報）は、「グローバル駒場」ホームページやアドミニストレーション棟1階の国際交流支援チーム前に掲示してあるので、必要な場合は確認すること。<https://www.globalkomaba.c.u-tokyo.ac.jp/>（QRコード2）

※学生生活に関すること、日本学生支援機構奨学金及び授業料免除等については、学生生活支援ホームページで確認すること。<https://www.c.u-tokyo.ac.jp/campuslife/index.html>（QRコード3）

（6）UTokyo Account について

UTokyo Account とは、本学の教育に関わる情報システム（UTAS 等）を利用するための共通アカウント。以下を参照すること。

【新規で UTokyo Account を取得した場合】

1. 「UTokyo Account パスワード通知書」を受け取る。

※初期パスワードのままではサービスは利用できない。

QRコード1



QRコード2



QRコード3



2. UTokyo Account のホームページ「利用者メニュー」から、UTokyo Account の初期パスワードを変更する。<https://utacm.adm.u-tokyo.ac.jp/webmtn/LoginServlet> (QR コード 4)
※新しいパスワードの反映までは 10 分程度時間を要する。
3. 変更後のパスワードで UTAS にログインし、住所・メールアドレス等の連絡先を登録する。



【パスワードを忘れた場合】

UTAS にメールアドレスを登録している者は、UTokyo Account のホームページ「利用者メニュー」からパスワードを再設定できる。<https://utacm.adm.u-tokyo.ac.jp/webmtn/LoginServlet> (QR コード 4)

【留意事項】

- UTokyo Account に関する詳細は、utelecon のホームページを確認すること。
https://utelecon.adm.u-tokyo.ac.jp/utokyo_account/ (QR コード 5)
- 学位取得や、退学により離籍する場合、UTokyo Account は失効し、ECCS クラウドメール等（ドライブ、カレンダーも含む）はアクセス不可となる。クラウドメール転送設定等詳細は ECCS のホームページを確認すること。<https://www.ecc.u-tokyo.ac.jp/leave.html> (QR コード 6)



(7) UTAS(学務システム)について

UTAS では、シラバスの参照、履修登録、成績の確認等ができる。UTAS へは UTokyo Account のユーザー名・パスワードでログインするため、「(6) UTokyo Account について」に記載の手続きを行うこと。UTAS ログイン：<https://utas.adm.u-tokyo.ac.jp/campusweb/> (QR コード 7)



(8) 大学生活に必要な情報システムの準備について

Utelecon (<https://utelecon.adm.u-tokyo.ac.jp/oc/>) (QR コード 8) の、新入生向けの「大学生活に必要な情報システムの準備について」を確認し、準備すること。



(9) 連絡先の登録・変更について

連絡先（住所・電話番号・メールアドレス）に変更がある場合は、UTAS に最新の連絡先を登録すること。住所を変更する場合は、総合文化大学院チームに届け出ること。

通学定期乗車券発行控の住所変更は、学生支援課学生支援チーム（アドミニストレーション棟 1 階 8 番窓口）に問い合わせること。<https://www.c.u-tokyo.ac.jp/campuslife/commute/index.html> (QR コード 9)



(10) 教務課窓口の受付時間について

受付時間 10時00分～16時00分

※ただし、12時30分～13時30分の間閉室。業務時間の変更もあるので、総合文化大学院生ホームページ (<https://www.c.u-tokyo.ac.jp/graduate/index.html>) (QR コード 10) を確認すること。



(11) 証明書等について

交付願提出日を含めず、土・日・祝日を除いて、和文は3日後、英文は5日後に交付される。

在学証明書（和文・英文）、成績証明書（和文・英文）、学割及び修了見込証明書（和文・英文、今年度、修士課程修了予定者のみ）については、証明書自動発行機（アドミニストレーション棟 1 階）により即時発行される。

(12) 学生証の更新について

在学期間の延長をした者又は学生証の有効期間が過ぎている者は、旧学生証を持参の上、総合文化大学院チームに申し出ること。

履修に関する手続

1. 修士課程の修了要件（単位）について

標準修業年限は2年であり、30単位以上を修得し、修士の学位論文審査及び最終試験に合格しなければならない。

各専攻（分野）・系・プログラムでの修了要件（単位）の詳細については、以下を参照し、履修すること。

なお、博士後期課程のみ対象の科目は履修できないので、注意すること。

（1）各専攻（分野）・系

指導教員の指示に従い、所属専攻（分野^{注1}）・系の科目から16単位以上（各指導教員による論文指導の単位を含めることができる）を修得しなければならない。

広域科学専攻の各系の必修科目については、上記に加えて、各系の授業科目一覧（時間割）の注意事項を参照し、履修すること。

また、指導教員の承認を得て、他の専攻（分野^{注1}）・系・プログラム^{注2}、他の研究科、教育部及び学部（後期課程）等の科目を履修し、修士課程の単位とすることができるが、学部（後期課程）等の科目は8単位を限度とする。

（2）「人間の安全保障」プログラム

指導教員の指示に従い、所属専攻（分野^{注1}）・系の科目から12単位以上、プログラム科目から14単位以上を修得しなければならない。プログラム科目のうち、「人間の安全保障基礎論Ⅰ・Ⅱ」の4単位は必修とする。また、所属専攻（分野^{注1}）・系の科目のうち、論文指導に相当する科目については、原則として修了予定年度において履修し、4単位を上限として修了必要単位に認定するものとする。

また、指導教員の承認を得て、他の専攻（分野^{注1}）・系・プログラム^{注2}、他の研究科、教育部及び学部（後期課程）等の科目を履修し、修士課程の単位とすることができる。ただし、学部（後期課程）等の科目は8単位を限度とする。

（3）欧州研究プログラム

指導教員の指示に従い、所属専攻（分野^{注1}）の科目から16単位以上、プログラム科目から14単位以上を修得しなければならない。そのうち、「現代欧州研究の方法」、「欧州研究演習Ⅰ」、「欧州研究演習Ⅱ」の6単位は必修とし、「欧州統合史」、「欧州政治論」、「EU法」、「欧州公共秩序思想」、「現代ドイツ基層論」の中から4単位を選択必修とする。

また、指導教員の承認を得て、他の専攻（分野^{注1}）・プログラム^{注2}、他の研究科、教育部及び学部（後期課程）等の科目を履修し、修士課程の単位とすることができる。ただし、学部（後期課程）等の科目は8単位を限度とする。

(4) グローバル共生プログラム

指導教員の指示に従い、所属専攻（分野^{注1}）の科目から8単位以上、プログラム科目から18単位以上を修得しなければならない。プログラム科目のうち、「グローバル共生基礎論Ⅰ・Ⅱ」、「論文・課題研究演習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ」の10単位は必修とする。

また、指導教員の承認を得て、他の専攻（分野^{注1}）・プログラム^{注2}、他の研究科、教育部及び学部（後期課程）等の科目を履修し、修士課程の単位とすることができる。ただし、学部（後期課程）等の科目は8単位を限度とする。

(5) 多文化共生・統合人間学プログラム（学位授与プログラムの場合）

指導教員の指示に従い、所属専攻（分野^{注1}）の科目から12単位以上、プログラム科目から14単位以上を修得しなければならない。プログラム科目のうち、「多文化共生・統合人間学講義Ⅰ」、「多文化共生・統合人間学特別研究Ⅰ」、「多文化共生・統合人間学特別研究Ⅱ」の4単位を必修とし、「多文化共生・統合人間学講義Ⅱ～Ⅳ」の中から2単位、「多文化共生・統合人間学講義Ⅴ～Ⅷ」の中から4単位、「多文化共生・統合人間学演習Ⅰ～Ⅺ」の中から2単位、「多文化共生・統合人間学実験実習Ⅰ～Ⅴ」の中から2単位を選択必修とする。

また、指導教員の承認を得て、他の専攻（分野^{注1}）・プログラム^{注2}、他の研究科、教育部及び学部（後期課程）等の科目を履修し、修士課程の単位とすることができる。ただし、学部（後期課程）等の科目は8単位を限度とする。

注1）超域文化科学専攻においては、所属コースの科目及び超域文化科学専攻共通科目が、所属分野の科目となる。

注2）科学技術インタープリター養成プログラム、日独共同大学院プログラム及び英語教育プログラムの科目は、各プログラムに登録する者以外は履修することができない。

2. 博士後期課程の修了要件（単位）について

標準修業年限は3年であり、20単位以上を修得し、博士の学位論文審査及び最終試験に合格しなければならない。

各専攻（分野）・系・プログラムでの修了要件（単位）の詳細については、以下を参照し、履修すること。

修士課程において30単位を超えて履修した者は、指導教員の承認を得てその超過単位の中8単位を限度として、博士後期課程の単位とすることができるが、その手続きは最終年次のみとする。希望する者は、最終学期の初めに教務課総合文化大学院チームで相談すること。

なお、修士課程のみ対象の科目は履修できないので、注意すること。

また、特段の理由がない限り、学部（後期課程）の科目は履修できない。特段の理由があり履修を希望する場合は、総合文化大学院チームで相談すること。

（１）各専攻（分野）・系・「人間の安全保障」プログラム共通

指導教員の指示に従い、所属専攻（分野^{注1}）・系の科目から８単位以上（各指導教員による論文指導の単位を含めることができる。）を修得しなければならない。

また、指導教員の承認を得て、他の専攻（分野^{注1}）・系・プログラム^{注2}、他の研究科、教育部及び医学部医学科の科目を履修し、博士後期課程の単位とすることができる。

（２）グローバル共生プログラム

指導教員の指示に従い、所属専攻（分野^{注1}）の科目から４単位以上、プログラム科目から１４単位以上を修得しなければならない。プログラム科目のうち、「博士論文準備演習Ⅰ～Ⅴ」の１０単位は必修とする。

また、指導教員の承認を得て、他の専攻（分野^{注1}）・プログラム^{注2}、他の研究科、教育部及び医学部医学科の科目を履修し、博士後期課程の単位とすることができる。

（３）多文化共生・統合人間学プログラム（学位授与プログラムの場合）

指導教員の指示に従い、所属専攻（分野^{注1}）の科目から４単位以上、プログラム科目から９単位以上を修得しなければならない。プログラム科目のうち、「多文化共生・統合人間学特別研究Ⅲ」、「多文化共生・統合人間学特別研究Ⅳ」、「多文化共生・統合人間学特別研究Ⅴ」の３単位を必修とする。ただし、博士後期課程から本プログラムに入学した者は、「多文化共生・統合人間学講義Ⅰ」の２単位も必修とする。

また、指導教員の承認を得て、他の専攻（分野^{注1}）・プログラム^{注2}、他の研究科、教育部及び医学部医学科の科目を履修し、博士後期課程の単位とすることができる。

注１）超域文化科学専攻においては、所属コースの科目及び超域文化科学専攻共通科目が、所属分野の科目となる。

注２）科学技術インタープリター養成プログラム、日独共同大学院プログラム及び英語教育プログラムの科目は、各プログラムに登録する者以外は履修することができない。

3. 「同一科目」の単位の認定について

「同一科目」とは、科目番号（末尾のS、A、Tは除く）を同一にする授業科目のことである（同一科目名でも科目番号が異なれば、別の科目として取り扱う）。

	文系専攻所属学生	広域科学専攻所属学生
修士	同一科目番号の科目について、4単位を限度として認定する。	同一科目番号の科目については、単位は認定されない。ただし、例外となる科目があるので、これについては、授業科目一覧（時間割）の注意事項で確認すること。
博士	特に制限を設けない。ただし各専攻の論文指導科目については8単位を限度とする。	

4. 履修手続方法

（1）Web 履修登録について

指導教員の指導により履修科目を決め、履修科目登録手続期間に、UTAS（学務システム）で履修登録を行うこと。論文指導科目や必修科目も履修登録を行うこと。履修登録完了後、UTAS から履修科目控などの履修登録した科目がわかるものを出力し、指導教員に提出すること。

なお、UTokyo Account パスワード通知書を入手していない者は、教務課総合文化大学院チームで受け取ることができる。

S セメスター・S 1 ターム・S 2 ターム及び通年の開講科目

・・・ 4 月初旬～5 月初旬の履修科目登録手続期間に登録

A セメスター・A 1 ターム・A 2 タームの開講科目

・・・ 10 月初旬～10 月下旬の履修科目登録手続期間に登録

集中講義・・・ 開講学期の履修科目登録手続期間に登録

集中講義も含め履修科目登録手続期間以外の登録、修正は一切受け付けられない。詳細は、UTAS の Web 上に掲載されている「UTAS 利用者マニュアル」を参照すること。

（2）学部（後期課程）の授業科目の履修登録について

修士課程学生のみ学部（後期課程）の授業科目を履修できる。1・2 年生対象の授業科目は履修できない。

博士後期課程学生は学部の授業科目は履修できないが、教職科目、資格取得等の場合については学部（後期課程）の科目につき履修可能とする。その際、UTAS での履修登録はせず、「履修科目届（学部科目履修用）」（用紙は総合文化大学院チームで受け取ること）を必ず、履修科目登録手続期間内に総合文化大学院チームへ提出すること。履修科目届の履修理由の欄に教職科目、〇〇資格取得のためと明記すること。

(3) 他大学の授業科目の履修登録について

以下の他大学大学院の授業科目の履修登録をする場合は、UTAS での登録はできないので、「履修科目届（他大学科目履修用）」（用紙は総合文化大学院チームで受け取る）を必ず、総合文化大学院チームに履修科目登録手続期間内^{注3}に提出すること。履修科目届には科目名の下に大学名を明記すること。指導教員の許可を得て、修士課程及び博士後期課程を通じて **10単位**（外国の大学の大学院において修得し、認定された単位数と合わせて15単位）を限度として修了単位に算入することができる。シラバスについては、総合文化大学院チーム**ホームページ**で閲覧できる。

○お茶の水女子大学

履修可能専攻等：広域科学専攻関連基礎科学系

履修可能科目：お茶の水女子大学大学院人間文化創成科学研究科理学専攻
博士前期課程及び博士後期課程で開講している授業科目

○国際連合大学

履修可能専攻等：特に指定なし

履修可能科目：国際連合大学サステナビリティ高等研究所
修士課程及び博士後期課程で開講している授業科目

注3）履修科目登録手続期間前に別途手続期限を設ける場合がある。総合文化大学院チームホームページを参照のこと。



<https://www.c.u-tokyo.ac.jp/graduate/index.html>（右のQRコード）

休学等の手続

休学をする場合は、次のことについて、十分心得ておくこと。

1. 休学の手続

休学をする場合は、必ず指導教員と相談のうえ、手続を進めること。

教務課総合文化大学院チームで休学願の用紙の交付を受け（または総合文化大学院チームホームページより取得する）、必要事項を記入した後、指導教員の捺印と、専攻長・系長の捺印（所属する専攻等の事務室から指示を受けること）を受けてから、休学願及び必要書類（下表参照）を総合文化大学院チームへ提出すること。授業料未納・書類不備の場合は受理しない。

休学願の提出期限は、休学期間が開始する1ヶ月前とする。休学を延長する場合も休学期間が終了する1ヶ月前までに休学の再手続をすること。

なお、申請時の休学期間は最大1年間（ただし、病気による休学は年度毎に申請が必要）とする。

休学の理由	休学のために必要な書類
海外修学	休学願、修学計画書、入学許可証明書（写）または在学証明書（写） ※和訳又は英訳を必ず添付すること
海外への学術調査	休学願、調査・見学計画書（日程表含む）
経済的理由	休学願、理由書（書式自由、理由を詳細に400字程度で作成すること）
病気	休学願、医師の診断書
出産または育児	休学願、母子手帳（写）※（改姓をした場合は、旧姓・新姓の両方が分かる身分証明書も持参すること）
介護	休学願、医師の診断書
社会に貢献する活動	休学願、計画書（書式自由、詳細に書くこと）
一時帰国	休学願、理由書（書式自由、詳細に書くこと）

※出産前の場合は、母子手帳の表紙の写、出産後は表紙に加えて出生届出済証明のページの写も提出すること。また、男性が育児を理由に休学する場合は、子と同世帯と分かる書類も添付すること。

※総合文化大学院チームホームページ (<https://www.c.u-tokyo.ac.jp/graduate/procedures/index.html>) (QRコード) に必要書類及び記入上の注意を掲載しているので、参照すること。



2. 休学期間・修業年限・在学年限（大学院学則第29条・第2条第5項・第27条参照）

休学期間として認められる期間は2ヶ月以上で、修士課程においては2年、博士後期課程においては3年を超えることはできない。

休学した期間は、修業年限（修士：2年・博士：3年）及び在学年限（修士：3年・博士：5年）には算入されないので注意すること。

また、学期途中までの休学申請を希望する場合、授業料の取扱いについて事前に必ず総合文化大学院チームに問い合わせること。

3. 復学

休学期間中に休学の事由が解消された場合は、総合文化大学院チームで復学願の用紙の交付を受け（または総合文化大学院チームホームページより取得する）、必要事項を記入した後、指導教員の捺印と、専攻長・系長の捺印（所属する専攻等の事務室から指示を受けること）を受けてから、総合文化大学院チームへ提出すること。

復学願の提出期限は、復学する1ヶ月前とする。

また、休学期間が終了し復学する場合も、必ず復学願を提出すること。なお、休学期間が終了し、復学願等を提出しなかった場合は、次学期（休学が終了した月の翌月）以降も在学することとして扱い、次学期の授業料が発生するので、必ず復学願等を提出すること。

休学の理由が病気であった場合は、復学願の他に、医師の診断書を添付すること。

※総合文化大学院チームホームページ (<https://www.c.u-tokyo.ac.jp/graduate/procedures/index.html>) (QRコード) に必要書類及び記入上の注意を掲載しているので、参照すること。



4. 授業料

休学する者は、原則としてその期間の授業料は免除される。休学する場合は、提出期限内に上記1. の手続きをすること。なお、学期の途中から休学する場合はこの限りではないので、早めに総合文化大学院チームに問い合わせること。

手続きに遅れた場合は、前期（4月～9月）分あるいは後期（10月～3月）分の授業料を納入しなければならないので注意すること。

復学した場合は、復学した月から当該学期末までの授業料を、復学した月内に納入しなければならない。

なお、すでに納入した授業料については、返還しない。

5. 学位論文申請

休学期間中は、学位論文は提出できないので、注意すること。

(1) 海外渡航をする場合の手続

海外渡航をする場合、あるいは留学生が一時帰国をする場合は、総合文化大学院生ホームページの「海外渡航」(<https://www.c.u-tokyo.ac.jp/graduate/procedures/goingabroad/index.html>) (右の QR コード) を参照し、渡航予定日の1ヶ月前までに、海外渡航届提出フォームより登録すること。



2ヶ月以上の海外渡航を予定している場合は、海外渡航届提出フォームとは別に、学籍の手続きが必要となる。以下を確認し、手続き期限までに、総合文化大学院チームに必要書類を提出すること。また、P.14「学生の海外渡航（留学・学術調査等）に伴う安全情報について」を参考にし、安全対策に対する意識を高めておくこと。

また、海外に3ヶ月以上滞在する日本国籍を持つ者は、最寄りの在外日本国大使館あるいは総領事館（在外公館）に在留届を必ず提出すること。

1. 休学して海外へ渡航

2ヶ月以上、海外の教育・研究施設等において修学する場合、あるいは海外において調査・見学を必要とする場合（P.11「休学等の手続」を参照すること）。

休学して、外国の大学の大学院において専攻分野に関する授業科目を履修し単位を修得した場合、修士課程及び博士後期課程を通じて、15単位（下記3.及び次頁（2）で認定した単位、国内の他大学院において修得し、認定した単位を含む）を超えない範囲で本研究科において相当する科目及び単位を修得したものと認定することができる（平成25年4月1日より前に休学した分は除く）。ただし、原則として、休学の理由は海外修学のみとする。希望者は、休学期間終了後に総合文化大学院チームで必要な手続きをとること。単位の認定は、申請内容を専攻等で審査のうえ、研究科教育会議で決定する。

2. 在学身分のまま学術調査等のため海外へ渡航

2ヶ月以上、海外へ渡航して学術調査等を行う場合、開始予定日の2ヶ月前までに手続きをすること。

期間は、おおむね修業年限の2分の1（修士課程においては1年、博士後期課程においては1年半）を超えないものとする。在学身分のままであるため、海外渡航中でも授業料は納めなければならない。

2021年度Aセメスターから、渡航中に本学の（オンラインで開講されている）授業科目を履修し、単位を修得することが可能となった。なお、渡航先の大学等で修得した単位の認定は行わない。

3. 海外留学（大学院学則第28条参照）

海外の大学等に留学する場合、開始予定日の2ヶ月前までに手続きをすること。期間は、おおむね1年とする。在学身分のままであるため、留学期間中でも授業料は納めなければならない。

なお、留学して、外国の大学の大学院において専攻分野に関する授業科目を履修し単位を修得した場合、修士課程及び博士後期課程を通じて、15単位（上記1.及び次頁（2）で認定した単位、国内の他大学院において修得し、認定した単位を含む）を超えない範囲で本研究科において相当する科目及び単位を修得したものと認定することができる。希望者は、留学期間終了後に総合文化大学院チームで必要な手続きをとること。単位の認定は、申請内容を専攻等で審査のうえ、研究科教育会議で決定する。

2021年度Aセメスターから、留学中に本学の（オンラインで開講されている）授業科目を履修し、単位を修得することが可能となった。

4. 研究指導の委託による海外への渡航（大学院学則第12条参照）

研究指導の委託により海外へ渡航をする場合、開始予定日の2ヶ月前までに手続きをすること。

期間は、1年を超えないものとする。ただし、博士後期課程においてはさらに1年以内に限り延長することができる。在学身分のままであるため、海外渡航中でも授業料は納めなければならない。

なお、2021年度Aセメスターから、渡航中に本学の（オンラインで開講されている）授業科目を履修し、単位を修得することが可能となった。

5. 日本学術振興会特別研究員の海外への渡航

博士後期課程に在学したまま日本学術振興会特別研究員（DC1、DC2）に採用された者が28日以上海外へ渡航する場合。

原則として、研究指導の委託又は研究遂行による場合しか認められない。期間は、採用期間の2/3となっている。ただし、研究指導の委託による渡航期間は、通算渡航期間からは除外する。

日本学術振興会には、渡航1ヶ月前までに【学振マイページ】にて必要事項を連絡すること。また、帰国日から1ヶ月以内に学振の所定様式《海外渡航届》と《海外渡航報告書》をそれぞれ作成すること。日本学術振興会には所属機関から電子メールで提出することが求められているため、作成した所定様式(wordファイル、docx形式で保存していること)は、総合文化大学院チームまで電子メールにて提出すること。メールの件名は「学振 DC1_氏名_海外渡航届・報告書の提出依頼(帰国日:yyyymmdd)」

なお、2021年度Aセメスターから、渡航中に本学の(オンラインで開講されている)授業科目を履修し、単位を修得することが可能となった。

2ヶ月以上の渡航時の申請に必要な書類

休学	修学	: 休学願、修学計画書、入学許可証明書または在学証明書
	調査・見学	: 休学願、調査・見学計画書(日程表含む)
在学身分のまま	留学	: 留学許可願、入学許可証明書または在学証明書
	調査・見学	: 海外渡航申請書(在学身分のまま)
日本学術振興会 特別研究員採用 者の海外渡航 学振の様式は《》	研究指導	【渡航前】研究指導委託申請書、《学振マイページ》での手続 【帰国後】《海外渡航届》《海外渡航報告書》
	研究遂行	【渡航前】海外渡航申請書(在学身分のまま)、《学振マイページ》での手続 【帰国後】《海外渡航届》《海外渡航報告書》

※渡航に際しては、安全確保のため、以下のホームページ「GO Global」

(<https://www.u-tokyo.ac.jp/adm/go-global/ja/index.html>) (QRコード1)を事前に熟読すること。

併せて、以下のホームページ「海外渡航者向け危機管理サービス(OSSMA)について」(<https://www.c.u-tokyo.ac.jp/graduate/procedures/goingabroad/ossma.html>) (QRコード2)も参照すること。

QRコード1



QRコード2



学生の海外渡航(留学・学術調査等)に伴う安全情報について

公的機関による主な安全情報

1. 外務省関係

外務省ホームページの「海外渡航・滞在」の「海外安全対策」から「海外安全ホームページ」(<https://www.anzen.mofa.go.jp/index.html>) (QRコード3)で国別の安全情報・海外危険情報を閲覧できる。

併せて、外務省からの最新の海外安全情報や緊急事態発生時の連絡メール、緊急連絡などを受け取れるよう、事前に必ず外務省が実施している渡航登録サービス(「たびレジ」又は「在留届」)(<https://www.ezairyu.mofa.go.jp/index.html>) (QRコード4)に登録すること。

QRコード3



QRコード4



2. 厚生労働省関係

成田空港検疫所ホームページ(<https://www.forth.go.jp/keneki/narita/index.html>) (QRコード5)により、海外感染症情報等を提供。

QRコード5



(2) 外国の大学院が行う通信教育における授業科目を日本国内で履修し単位を修得した場合

外国の大学の大学院が行う通信教育において専攻分野に関する授業科目を履修し単位を修得した場合、修士課程及び博士後期課程を通じて、15単位(前頁1.及び3.で認定した単位、国内の他大学院において修得し、認定した単位を含む)を超えない範囲で本研究科において相当する科目及び単位を修得したものと認定することができる。希望者は、総合文化大学院チームで必要な手続きをとること。単位の認定は、申請内容を専攻等で審査のうえ、研究科教育会議で決定する。

修士学位論文提出要領

1. 修士学位論文提出資格

2023年3月末日までに、本研究科で定めた修業年限以上在学し、所属専攻・系の授業科目16単位以上を含む30単位以上を履修して修得する見込みの者。

※プログラム所属者は、それぞれの修了要件を確認すること。

2. 学位論文題目届の提出

(1) 提出期間

専 攻 ・ 系	学 位 論 文 題 目 届 提 出 期 間
言語情報科学 超域文化科学 地域文化研究 国際社会科学	2023年10月25日（水）～10月31日（火）
生命環境科学系 広域科学 広域システム科学系 関連基礎科学系	2023年11月30日（木）～12月 7日（木）

(2) 提出場所

教 務 課 総 合 文 化 大 学 院 チーム【窓口】

(3) 受付時間

10:00 ～12:30、13:30～16:00（時間厳守）

※不備がある場合は、受理しない。

(4) 学位論文題目届は、所定の用紙に指導教員の承認の押印を受けて提出すること。

押印がない場合は、指導教員から題目届を確認し、提出を許可する旨の承諾メールを題目届と一緒に提出すること。

(5) 学位記の氏名は、この題目届の文字を用いるので、原則として戸籍簿等のおりに楷書で正確に記入すること。ただし、外国人学生（漢字を氏名に使用しない者）については、ローマン・アルファベットとする。論文本体の表紙、論文要旨、学位論文提出届等の学位論文申請手続きに関する全ての書類について、氏名の表記を統一させること。

※旧姓使用等については、総合文化大学院チーム窓口にて確認すること。

(6) 論文題目について、題目が日本文の場合はその英語訳を必ず書き添えること。（英語訳に括弧は不要）また題目が英文の場合は活字体で記入し、その日本語訳を（ ）書きで必ず書き添えること。

(7) 「生年月日」と「学位記に記載する生年月日の年号表記」（和暦/西暦）を統一すること。

3. 論文及び論文要旨の提出

(1) 提出期間

専 攻 ・ 系	学 位 論 文 提 出 期 間
言語情報科学 超域文化科学 地域文化研究 国際社会科学	2023年12月 1日（金）～12月 8日（金）
生命環境科学系 広域科学 広域システム科学系 関連基礎科学系	2024年 1月 5日（金）～ 1月11日（木）

(2) 提出場所

教務課総合文化大学院チーム【窓口】

ただし、提出期間最終日は下記のとおりとする。

専攻・系	学位論文提出期間最終日	提出場所
言語情報科学 超域文化科学 地域文化研究 国際社会科学	2023年12月 8日 (金)	未定 (決まり次第掲示する)
生命環境科学系 広域科学 広域システム科学系 相関基礎科学系	2024年 1月11日 (木)	15-101 講義室 (予定)

(3) 受付時間

10:00 ~12:30、13:30~16:00 (時間厳守)

※受付時間を過ぎたもの、書類等が不備なものについては、特段の理由がない限り受理しない。

(注) ここで言う「特段の理由」とは、不慮の事故や災害、法律で指定された感染症等の急な発症など、通常予測不可能であり、かつ本人に責を帰すべき事由のいっさい存在しない場合に限られる。プリンターの故障や不具合、通常予想できる範囲の交通機関の遅れ、重篤でない病気などは該当しない。

なお、「特段の理由」に該当すると思われる場合は、その事実を証明する文書を添付して指導教員に申し出ること。

(4) 指導教員の承認を受けてから提出すること。

(5) 提出書類等

ア) 学位論文提出届 1部

※所定の用紙は、総合文化大学院チームホームページ上から入手できるので、論文題目(英語訳も必ず記入すること)はパソコンで入力し、印刷のうえ以下の書類を添えて提出すること。) (<https://www.c.u-tokyo.ac.jp/graduate/thesis/master/index.html>) (右のQRコード)



イ) 論文 3部 (正1部、写し2部)

ウ) 論文要旨 3部 (正1部、写し2部)

※イ)、ウ)について、専攻・系等より別途追加提出の指示がある場合は必ずその指示に従うこと。

4. 論文及び論文要旨作成要領

(1) 言語情報科学専攻、超域文化科学専攻、地域文化研究専攻、国際社会科学専攻

(2)

①論文

ア) 原則としてA4判とし、日本語及び欧文の場合は、パソコン等を使用し印刷したもの、中国語等の場合は、原稿用紙等に清書又はパソコン等を使用し印刷したものを、仮製本以上(バインダー綴不可)の装丁にすること。

イ) 表紙については、以下の「論文の表紙の作成例」により、論文題目(論文題目が外国語の場合には()書きで日本語訳を必ずつけること)、専攻(分野)名、学生証番号及び氏名等を記載すること。

ウ) 分冊となる場合は、各分冊の表紙にそれぞれ論文と同様に論文題目(論文題目が外国語の場合には()書きで日本語訳を必ずつけること)、専攻(分野)名、学生証番号及び氏名等を記載すること。この場合、論文の背の部分の下部に分冊番号並びに氏名を付記すること。

②論文要旨

- ア) A 4 判で、記載方法は論文に準ずるものとし、日本語及び中国語等の場合は 4,000 字以内、欧文等の場合は 10 枚以内を原則とし、図表等を用いる場合は、明瞭に印刷又は複写すること。ただし、各専攻において特別な指示がある場合は、その指示によること。
- イ) 表紙については、以下の「論文要旨の作成例」により、論文題目（論文題目が外国語の場合には（ ）書きで日本語訳を必ずつけること）、専攻（分野）名、学生証番号及び氏名等を記載すること。
- ウ) 論文とは別にして綴じること。

（3） 広域科学専攻

①論文

- ア) 原則としてA 4 判とし、日本語及び欧文いずれの場合もパソコンを使用し印刷したものを、仮製本以上（バインダー綴不可）の装丁にすること。
- イ) 表紙については、以下の「論文の表紙の作成例」により、論文題目（論文題目が外国語の場合には（ ）書きで日本語訳を必ずつけること）、専攻・系名、学生証番号及び氏名等を記載すること。
- ウ) 分冊となる場合は、各分冊の表紙にそれぞれ論文と同様に論文題目（論文題目が外国語の場合には（ ）書きで日本語訳を必ずつけること）、専攻・系名、学生証番号及び氏名等を記載すること。この場合、論文の背の部分の下部に分冊番号並びに氏名を付記すること。

②論文要旨

- ア) A 4 判で、記載方法は論文に準ずるものとし、日本文で図表を含めて 4,000 字以内とする。図表及び化学記号等を用いる場合は、明瞭に印刷又は複写すること。ただし、専攻・系において特別な指示がある場合は、その指示によること。
- イ) 表紙については、以下の「論文要旨の作成例」により、論文題目（論文題目が外国語の場合には（ ）書きで日本語訳を必ずつけること）、専攻・系名、学生証番号及び氏名等を記載すること。
- ウ) 論文とは別にして綴じること。

5. その他

- 授業料未納の者は、修了することはできないので注意すること。
- **所定の用紙は、2023年10月2日（月）以降 総合文化大学院チームホームページ上に掲載及び教務課総合文化大学院チーム窓口で配付するので、学位論文題目届提出期間の前に入手し、余裕をもって準備すること。**
- 学位記の氏名について
学位記の氏名は、学位論文題目届に記入した氏名をもとに作成するため、戸籍簿等の記載のとおり楷書で記入すること。漢字圏以外の国籍をもつ外国人学生は、ローマン・アルファベット表記となる。なお、旧姓の表記を希望する場合や外国人学生（日本国籍を持つ多重国籍者を含む）で氏名の表記について特段の事情がある場合は、規則上の制限があるので個別に総合文化大学院チームの窓口へ相談すること。
外国人学生には、学位記のほかに「学位記の英文による証明状」を発行する。これに表記する氏名は、学位論文題目届に記入した英字（ローマン・アルファベット）表記による氏名をもとに作成する。スペルや姓・名・ミドルネームの順番等も記入したとおりの氏名で作成するため、特に、パスポート等に記載されている氏名と同じ表記を希望する場合は、留意すること。ただし、氏名は全て大文字で表記される。
英字表記による氏名を学位論文題目届に記入する際は、パソコンで入力すること。

修 士 学 位 論 文

○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○

(外国語の場合は，日本語訳)

○ ○ ○ 年 度
○ ○ ○ ○ ○ 専 攻
○ ○ ○ ○ ○
○ ○ ○ ○ ○

← 提出年度
← 専攻（分野） ・ 系名
← 学生証番号
← 氏 名

[illegible]

- ← 論文題目
- ← 専攻（分野）・系名
- ← 学生証番号
- ← 氏 名
- ← 下半分から要旨本文を記入する。

博士学位論文提出要領（課程博士用）

1. 論文提出資格

- (1) 博士後期課程に2年以上3年未満在学し、修了予定月の末日までに本研究科で定めた修業年限以上在学し、修了に必要な所要科目及び単位を修得見込みの者で、論文提出日までに授業科目10単位以上を修得している者。
- (2) 博士後期課程に3年以上在学している者で、論文提出日までに本研究科で定めた修了に必要な所要科目及び単位を修得している者。
- (3) 博士後期課程に3年以上在学し、教育課程を修了したのみで退学し、退学後3年以内の者（本学学位規則第4条第2項による）。

2. 学位論文題目届の提出

■提出期間

上記1. 論文提出資格（1）、（2）の者のうち、2024年3月21日付けの学位授与を希望する者は、下表の期間に提出すること。それ以外の者及び論文提出資格（3）の者は、学位論文と併せて提出すること。

専攻・系	提出期間
言語情報科学 超域文化科学 地域文化研究 国際社会科学	2023年10月 6日（金）～ 10月13日（金）
生命環境科学系 広域科学 広域システム科学系 関連基礎科学系	2023年11月 2日（木）～ 11月9日（木）

■留意事項

- 学位論文題目届は、所定の用紙（総合文化大学院チームホームページよりダウンロード可）に指導教員の承認の押印を受けて提出すること。

<https://www.c.u-tokyo.ac.jp/graduate/thesis/doctor/index.html>（右のQRコード）



- 学位記の氏名は、この題目届に記入した氏名を用いるので、**楷書**で正確に記入すること。ただし、外国人学生（漢字を氏名に使用しない者）については、ローマン・アルファベットとする。また、論文、論文の内容の要旨、履歴書及び論文目録に記載する氏名は、この題目届に記入した氏名と完全に一致させること（旧字体などパソコンで入力できないものは事前に総合文化大学院チームへ相談すること）。学位記の氏名の表記についての詳細は、下記5. 参照。
- 論文題目について、題目が日本語の場合はその英語訳を必ず書き添えること。（英語訳に括弧は不要）また題目が英文の場合は活字体で記入し、その日本語訳を（ ）書きで必ず書き添えること。

■提出場所 教務課総合文化大学院チーム窓口

■受付時間 10:00～12:30/13:30～16:00（時間厳守）

3. 論文、論文の内容の要旨及び添付書類の提出

■提出方法・期間

上記1. 論文提出資格（1）、（2）の者のうち、2024年3月21日付けの学位授与を希望する者は、下表の期間に提出すること。（2）でそれを希望しない者及び論文提出資格（3）の者は、随時提出することができる。ただし、論文提出資格（1）の者が下表の期間までに提出しない場合、学位授与日は本研究科で定めた修業年限を満たした月の翌月以降となる。

専 攻 ・ 系	提 出 期 間
言語情報科学 超域文化科学 地域文化研究 国際社会科学	2023年11月14日（火）～11月24日（金）
生命環境科学系 広域科学 広域システム科学系 関連基礎科学系	2023年11月30日（木）～12月 7日（木）

※ 必ず指導教員の承認を受けてから提出すること。

※ 論文は在学中の者のみ提出できる。休学中の者は提出できないので、事前に復学手続を行うこと。

■提出場所 教務課総合文化大学院チーム窓口

ただし、広域科学専攻の学位論文提出期間最終日は下記のとおりとする。

専 攻 ・ 系	学位論文提出期間最終日	提 出 場 所
生命環境科学系 広域科学 広域システム科学系 関連基礎科学系	2023年12月 7日（木）	15-101講義室（予定）

■受付時間 10:00～12:30/13:30～16:00（時間厳守）

受付時間を過ぎたもの、書類等が不備なものについては、特段の理由がない限り受理しない。

（注）ここで言う「特段の理由」とは、不慮の事故や災害、法律で指定された感染症等の急な発症など、通常予測不可能であり、かつ本人に責を帰すべき事由のいっさい存在しない場合に限られる。コンピュータ等の不具合や通信障害、通常予想できる範囲の交通機関の遅れ、重篤でない病気などは該当しない。なお、「特段の理由」に該当すると思われる場合は、その事実を証明する文書を添付して指導教員に申し出ること。

■提出書類

- | | | |
|-------------|----------------|---------------------|
| ア) 学位論文提出届 | 1部 | … 所定の用紙 |
| イ) 論 文 | 5部（正1部、写し4部） | … 原則としてA4判（同じものを5部） |
| ウ) 論文の内容の要旨 | 5部（正1部、写し4部） | … A4判（同じものを5部） |
| エ) 履 歴 書 | 7部（署名したもの2部含む） | … 所定の用紙 |
| オ) 論文目録 | 7部（署名したもの2部含む） | … 所定の用紙 |
| カ) 同意承諾書 | 6部（正1部、写し5部） | … 共同研究者又は共著者がある場合 |

※カ) については、**原本の複写可。ただし、その場合の原本は、共著者または学位申請者が学位取得後10年間保管のこと。**

ただし、上記1. 論文提出資格（3）の者は、上記書類の他に学位論文題目届も提出すること。
また、論文提出資格（1）、（2）の者で、すでに提出している学位論文題目届の論文題目に変更がある場合は、論文提出の際にその旨申し出ること（学位論文題目届の再提出は不要）。

なお、ア) 学位論文提出届、エ) 履歴書及びオ) 論文目録については、所定の用紙が総合文化大学院チームホームページ（<https://www.c.u-tokyo.ac.jp/graduate/thesis/doctor/index.html>）（QRコード）からダウンロードできる。



■論文及び論文の内容の要旨作成要領

○論文

- ア) 日本語及び欧文の場合は、パソコン等を使用し印刷したもの、中国語等の場合は、原稿用紙等に清書又はパソコン等を使用し印刷したものを、仮製本以上（バインダー綴不可、背表紙が糊付けされたもの）の装丁にすること。

イ) 分冊となる場合は、論文の背の部分の下部に分冊番号（「1/2」「2/2」など）を付記すること。

○論文の内容の要旨

ア) 日本文又は英文で記入し、縦長・横組（A4タテ、横書き）とする。

イ) パソコン等を使用し、10ポイント程度の活字で印刷したものとする。ただし、複雑な数式等を含む要旨の場合は、この限りではない。

ウ) 1ページ目の上半分に標題「論文の内容の要旨」と論文題目及び氏名を記入し、下半分から内容の要旨を記載すること。

エ) 日本文の場合は4,000字以内、英文の場合は2,000語以内とし、図表、化学記号等を用いる場合は、明瞭に印刷又は複写し、全体で4ページ以内となるように作成すること。

4. 学位授与後の提出物等

提出方法等の詳細は、「学位申請者（課程博士）のための手引き」の「学位取得後の提出物について」を参照すること。

ア) 博士論文の電子データ

博士論文の提出については、下記「博士論文の公表方法について」を確認すること。

イ) 「論文の内容の要旨」・・・・・・2部

ウ) 「論文の内容の要旨」の電子データ

5. その他

○授業料未納の者は、修了することはできないので、注意すること。

○「学位申請者（課程博士）のための手引き」の配付時期・方法について

「学位申請者（課程博士）のための手引き（論文の表紙等の作成例、履歴書、論文目録等の記入例、学位取得後の提出物及び所定の用紙）」は、**2023年7月3日（月）以降**、総合文化大学院チームホームページ上に掲載及び教務課総合文化大学院チームにて配付するので、学位論文題目届提出期間の前に入手し、**余裕をもって準備すること。**

○学位記の氏名について

学位記の氏名は、学位論文題目届に記入した氏名をもとに作成するため、戸籍簿等の記載のとおり楷書で記入すること。漢字圏以外の国籍をもつ外国人学生は、ローマン・アルファベット表記となる。なお、旧姓の表記を希望する場合や外国人学生（日本国籍を持つ多重国籍者を含む）で氏名の表記について特段の事情がある場合は、規則上の制限があるので個別に総合文化大学院チームの窓口へ相談すること。

外国人学生には、学位記のほかに「学位記の英文による証明状」を発行する。これに表記する氏名は、学位論文題目届に記入した英字（ローマン・アルファベット）表記による氏名をもとに作成する。スペルや姓・名・ミドルネームの順番等も記入したとおりの氏名で作成するため、特に、パスポート等に記載されている氏名と同じ表記を希望する場合は、留意すること。ただし、氏名は全て大文字で表記される。

英字表記による氏名を学位論文題目届に記入する際は、パソコンで入力すること。

《提出書類作成上の注意》

○すべての書類で氏名の表記（スペースの有無も含む）を統一すること。

○すべての書類で題目の表記を統一すること。（記号、スペース、和文英文併記か否か等）

○論文目録、履歴書の複写は署名した原本をコピーすること。

○本要領、及び「学位申請者（課程博士）のための手引き」をよく読み、自身でもよく確認すること。

博士論文の公表方法について

学位規則の一部を改正する省令（平成25年文部科学省令第5号）が平成25年4月1日から施行され、学位取得者の博士論文の全文の公表は、学位を取得した大学の協力を得て、インターネットの利用により公表することに改正されました。

東京大学では、法令改正に伴うインターネット公表については、大学の研究成果を電子的な形態により学内外に公開することを目的とした「東京大学学術機関リポジトリ」に登録することにより実施いたします。

（※東京大学学術機関リポジトリの概要については、別紙参照。）

この機関リポジトリに登録するためには、主に次の2点を用意する必要があります。

- ・ 博士論文の全文（最終版）に関する電子データ（PDF ファイル）
- ・ 機関リポジトリに登録するための許諾書

（※PDFファイルの作成及び東京大学学術機関リポジトリへの提供論文利用許諾要件については、別紙参照。）

許諾書の提出にあたっては、利用許諾要件を了解していることが前提になるなど、一定の条件がありますので、関係書類については、あらかじめご確認くださいようお願いします。

※ なお、上記のほか、本学が認める「やむを得ない事由」により機関リポジトリに博士論文の全文を公表できない（要約を公表する）場合の電子データ（PDF ファイル）の提出方法、あるいは、従来から実施している国立国会図書館等への論文の納付に関する対応などについては、課程博士、論文博士の別及びインターネット公表の方法の別などにより、学位取得者が提出しなければならない書類等が異なることとなりますので、関係書類を十分にご確認のうえ、必要な書類等を提出くださるようお願いします。

学問と知の倫理について

学問研究は、既成の知識や定説を踏まえながら、自律的な努力を積み重ね、新たな知見や認識、情報を産み出し、そのことによって、科学・技術の進歩と文化の創造に寄与することを目的とするものである。そこでは、研究対象に対する真摯で公平な態度が求められるとともに、従来の、そして他人の研究成果に対する十分な敬意が払われなくてはならない。東京大学大学院総合文化研究科において学問と知の探求に携わる者は、自らの営為に独自性の誇りをもつとともに、謙虚で誠実であらねばならず、創造の真の意味に反する、盗用、剽窃などの行為は、決して許されるべきではない。学問研究には厳粛な倫理が求められることを、教育研究の場においてこそ、ともに強く心に銘記したい。

以上の倫理を遵守する教育精神にもとづき、総合文化研究科では次の申合せをする。

試験等における不正行為、および盗用、剽窃、データの捏造など論文等の作成における学問的倫理に反する行為があった場合、研究科はその学生に対し、当該単位を不合格にするだけでなく、教育会議の議を経て研究科長の命により、それまで取得した単位の一部またはすべてを取消す措置を採ることができる。また悪質と判断された者は、教育会議の議を経て「東京大学学生懲戒処分規程」に基づく処分対象としうる。なお研究科がこれらの措置を採るに際して、学生が不当な不利益を被らないよう、周到的な調査を行い、慎重な判断を下すべきことは言うまでもない。

平成 22 年 10 月 1 日 総合文化研究科

附則 この申合せは平成 22 年 10 月 1 日より施行する。

授 業 科 目 一 覧

授業内容は、UTAS シラバスを参照してください。

※注意

本紙掲載内容は、9月19日現在の情報で変更の可能性があります。

必ず大学院 HP の「時間割変更（曜限・教室変更など）」「集中講義」の各ページと
UTAS や ITC-LMS で最新の授業情報を確認してください。

UTAS

<https://utas.adm.u-tokyo.ac.jp/campusweb/>



大学院 HP

<https://www.c.u-tokyo.ac.jp/graduate/classes/index.html>



2023年度時間割(大学院総合文化研究科)

言語情報科学専攻

時間割番号		科目名	担当教員	単位	学期	曜限	教室	備考
修士	博士							
31M200-0011A	31D200-0011A	一般言語理論Ⅰ	稲葉 治朗	2	A	水4	12-1233	
31M200-0020A	31D200-0020A	一般言語理論Ⅱ	渡邊 淳也	2	A	水3	8-210	
31M200-0140A	31D200-0140A	言語科学基礎理論演習Ⅳ	三浦 あゆみ	2	A	火3	12-1233	
31M200-0211A	31D200-0211A	言語科学基礎論Ⅱ	田中 伸一	2	A	金3	8-112	学部合併
31M200-0231A	31D200-0231A	言語科学基礎論Ⅳ	矢田部 修一	2	A	金4	1-121	学部合併
31M200-0240A	31D200-0240A	言語科学基礎概論Ⅰ	稲葉 治朗	1	A2	水2	8-209	学部合併
31M200-0270A	31D200-0270A	言語科学基礎概論Ⅳ	川崎 義史	1	A2	月4	情報教育棟E42	学部合併
31M200-0330A	31D200-0330A	言語情報解析Ⅰ	広瀬 友紀	2	A	金2	8-210	学部合併
31M200-0431A	31D200-0431A	言語情報解析演習Ⅲ	加藤 恒昭	2	A	月2	12-1214	
31M200-0450A	31D200-0450A	言語情報解析実験実習Ⅱ	川崎 義史	2	A	水2	18-メディアラボ2	
31M200-0621A	31D200-0621A	異文化コミュニケーション論Ⅱ	松本 和子	2	A	火4	8-324	
31M200-0711A	31D200-0711A	国際コミュニケーション演習Ⅰ	竹峰 義和	2	A	月3	8-323	
31M200-0731A	31D200-0731A	国際コミュニケーション演習Ⅲ	山崎 彩	2	A	火2	8-324	学部合併
31M200-0741A	31D200-0741A	国際コミュニケーション実験実習Ⅰ	李 佳梁	2	A	木2	8-317	
31M200-0910A	31D200-0910A	言語態理論Ⅰ	田尻 芳樹	2	A	金4	8-113	
31M200-0940A	31D200-0940A	言語態分析Ⅱ	諏訪部 浩一	2	A	金5	英文辞書室	人文社会系合併
31M200-0990A	31D200-0990A	メディア・コミュニケーション論Ⅰ	板津 木綿子	2	A	木2	福武ラーニングスタジオ3	学際情報学府合併
31M200-1011A	31D200-1011A	言語態分析演習Ⅰ	日向 太郎	2	A	月4	法文1号館114教室	学部合併
31M200-1021A	31D200-1021A	言語態分析演習Ⅱ	逆井 聡人	2	A	木2	12-1224	
31M200-1030A	31D200-1030A	言語態分析演習Ⅲ	武田 将明	2	A	火4	8-317	
31M200-1031A	31D200-1031A	言語態分析演習Ⅲ	村上 克尚	2	A	金4	14-706	
31M200-1080A	31D200-1080A	言語態基礎論Ⅲ	郷原 佳以	2	A	火3	8-321	
31M200-1090A	31D200-1090A	言語態基礎論Ⅳ	小林 宜子	2	A	金3	11-1105	
31M200-1261A	31D200-1261A	外国語としての日本語教育Ⅱ	宇佐美 洋	2	A	月2	8-209	
31M200-1321A	31D200-1321A	言語習得論演習Ⅱ	西村 義樹	2	A	火5	法文1号館314教室	人文社会系合併
31M200-1351A	31D200-1351A	言語習得論演習Ⅴ	ローランド, ダグラス	2	A	火2	21KOMCEE West K201	
31M200-1400A	31D200-1400A	日韓言語生態論Ⅰ	月脚 達彦	2	A	金5	8-113	学部・人文社会系合併
31M200-1401A	31D200-1401A	日韓言語生態論Ⅰ	河崎 啓剛	2	A	水5	11-1103	
31M200-1410A	31D200-1410A	日韓言語生態論Ⅱ	三ツ井 崇	2	A	月5	8-206	人文社会系合併
31M200-1513A	31D200-1513A	言語情報科学特別講義Ⅰ	横山 詔一	2	A	木2	5-534	
31M200-1541A	31D200-1541A	言語情報科学特殊研究Ⅰ	本林 響子	2	A	月5	8-112	
31M200-1550A	31D200-1550A	言語情報科学特殊研究Ⅱ	松本 和子	2	A	水4	10-303	学部合併
31M200-1552A	31D200-1552A	言語情報科学特殊研究Ⅱ	石原 あやか	2	A	月4	10-102	学部合併
31M200-1553A	31D200-1553A	言語情報科学特殊研究Ⅱ	峯松 信明	2	A	水2		人文社会系合併
31M200-1556A	31D200-1556A	言語情報科学特殊研究Ⅱ	鳥山 祐介	2	A	火4	8-113	学部合併
31M200-1560A	31D200-1560A	言語情報科学特殊研究Ⅲ	広瀬 友紀	2	A	金5	8-315	
31M200-1570A	31D200-1570A	言語情報科学特殊研究Ⅳ	小柳 智一	2	A	金2	8-207	学部合併
31M200-1580A	31D200-1580A	言語情報科学特殊研究Ⅴ	峯松 信明	2	A	火4	工学部旧2号館4階246講義室	工学系合併
31M200-1610A	31D200-1610A	言語情報科学特殊演習Ⅰ	ククリンスキ, ルーベン	2	A	金4	8-112	学部合併
31M200-1630A	31D200-1630A	言語情報科学特殊演習Ⅲ	山崎 彩	2	A	水2	8-324	学部合併
31M200-1590A		言語情報科学演習Ⅰ	各教員	2	A			
31M200-1600A		言語情報科学演習Ⅱ	各教員	2	A			
	31D200-3010A	言語情報科学特別演習Ⅰ	各教員	2	A			

※時間割変更(曜限・教室変更等)や集中講義については、総合文化大学院チームホームページ(<https://www.c.u-tokyo.ac.jp/graduate/>)に掲載しますので参照してください。
また、Aセメスター(A1・A2ターム)開講科目の曜限、教室については、Aセメスター開講前に総合文化研究科ホームページに掲載します。

2023年度時間割(大学院総合文化研究科)

言語情報科学専攻

時間割番号		科目名	担当教員	単位	学期	曜限	教室	備考
修士	博士							
	31D200-3020A	言語情報科学特別演習Ⅱ	各教員	2	A			

1. 時間・教室が空欄のものは、授業担当教員に確認すること。
2. 修士課程の論文指導科目「言語情報科学演習Ⅰ・Ⅱ」は、各学期2単位で開講し、それぞれ4単位を上限として履修できる。
ただし、演習Ⅱは演習Ⅰを4単位取得してから履修できるものとする。
3. 博士課程の論文指導科目「言語情報科学特別演習Ⅰ・Ⅱ」は、各学期2単位で開講し、それぞれ4単位を上限として履修できる。
ただし、演習Ⅱは演習Ⅰを4単位取得してから履修できるものとする。
4. 日程が決まっていない集中講義については、日程が決まり次第掲示により周知する。
5. 教室欄の〇-〇〇〇は、(号館)-(部屋番号)を表す。

2023年度時間割(大学院総合文化研究科)

超域文化科学専攻

時間割番号		科目名	担当教員	単位	学期	曜限	教室	備考
修士	博士							

【表象文化論コース】

31M210-0020A	31D210-0020A	文化創造論Ⅱ	星野 太	2	A	金3	14-708	
31M210-0050A	31D210-0050A	文化クリティシズムⅠ	竹峰 義和	2	A	月3	8-323	
31M210-0060A	31D210-0060A	文化クリティシズムⅡ	北田 暁大	2	A	水2	学際情報学府本館7階演習室1	学際情報学府合併
31M210-0080A	31D210-0080A	マルチメディア解析Ⅱ	オデイ, ジョン	2	A	火3	8-320	
31M210-0140A	31D210-0140A	文化ダイナミクス実験実習Ⅰ	カペル, マチュール	2	A	木2	8-323	
31M210-0150A	31D210-0150A	文化ダイナミクス実験実習Ⅱ	沖本 幸子	2	A	火3	14-605	
31M210-0210A	31D210-0210A	イメージ分析論Ⅰ	韓 燕麗	2	A	火4	18-メディアラボ1	
31M210-0230A	31D210-0230A	表象技術論Ⅰ	田中 純	2	A	月5	8-323	
31M210-0250A	31D210-0250A	表象文化史Ⅰ	桑田 光平	2	A	水5	8-323	
31M210-0260A	31D210-0260A	表象文化史Ⅱ	一條 麻美子	2	A	水3	8-323	
31M210-0290A	31D210-0290A	パフォーマンス・アーツ論Ⅰ	中井 悠	2	A	月4	8-207	
31M210-0301A	31D210-0301A	パフォーマンス・アーツ論Ⅱ	三輪 健太郎	2	A	金4	8-321	
31M210-0330A	31D210-0330A	表象文化論実験実習Ⅰ	加治屋 健司	2	A	火2	8-323	

【文化人類学コース】

31M210-4050A	31D210-4050A	民族社会論B	津田 浩司	1	A1	月2	8-112	学部合併
31M210-4120A	31D210-4120A	社会現象論A	藏本 龍介	1	A1	水2	8-112	学部合併
31M210-4130A	31D210-4130A	社会現象論B	藏本 龍介	1	A2	水2	8-112	学部合併
31M210-4180A	31D210-4180A	文化人類学特論Ⅰ-A	國弘 暁子	1	A2	金2	5-517	学部合併
31M210-4190A	31D210-4190A	文化人類学特論Ⅰ-B	木村 忠正	1	A2	金5	5-517	学部合併
31M210-4200A	31D210-4200A	文化人類学特論Ⅱ-A	中川 理	1	A2	金5	8-320	学部合併
31M210-4231A	31D210-4231A	文化人類学特論Ⅳ	渡邊 日日	2	A	金3	5-534	
31M210-4300A	31D210-4300A	文化人類学演習Ⅰ-A	塚原 伸治	1	A1	火2	1-119	学部合併
31M210-4320A	31D210-4320A	文化人類学演習Ⅱ-A	中村 沙絵	1	A2	月3	8-207	学部合併
31M210-4330A	31D210-4330A	文化人類学演習Ⅱ-B	浜田 明範	1	A1	火3	1-119	学部合併
31M210-4340A	31D210-4340A	文化人類学演習Ⅲ-A	関谷 雄一	1	A1	木2	8-207	学部合併
31M210-4341A	31D210-4341A	文化人類学演習Ⅲ-A	後藤 はる美	1	A1	月3	8-207	学部合併
31M210-4350A	31D210-4350A	文化人類学演習Ⅲ-B	関谷 雄一	1	A2	木2	8-207	学部合併
31M210-0581A	31D210-0581A	文化人類学実験実習Ⅰ	関谷 雄一	2	A			
31M210-0600A	31D210-0600A	文化人類学実験実習Ⅲ	関谷 雄一	2	A1			
31M210-0601A	31D210-0601A	文化人類学実験実習Ⅲ	関谷 雄一	2	A2			
31M210-4410A	31D210-4410A	比較民族誌演習B	渡邊 日日	1	A2	水2	8-205	学部合併
31M210-4501A		文化人類学特別演習Ⅰ	各教員	2	A	水4	1-105	
	31D210-4501A	文化人類学特別演習Ⅰ	各教員	2	A	水5	1-105	
	31D210-4511A	文化人類学特別演習Ⅱ	各教員	2	A	月4	5-512	
31M210-4530A	31D210-4530A	文化人類学特別演習Ⅳ-A	宮地 隆廣	1	A1	金4	8-320	学部合併
31M210-4540A	31D210-4540A	文化人類学特別演習Ⅳ-B	宮地 隆廣	1	A2	金4	8-320	学部合併

【比較文学比較文化コース】

31M210-0720A	31D210-0720A	多元文化構造論Ⅱ	大石 紀一郎	2	A	月2	8-418	
31M210-0740A	31D210-0740A	多元文化協力論Ⅱ	谷口 洋	2	A	金4	14-603B	
31M210-0790A	31D210-0790A	比較モダニティ論Ⅰ	齋藤 渉	2	A	火5	8-320	
31M210-0820A	31D210-0820A	基層文化形成論Ⅱ	桜井 英治	2	A	水2	14-605	学部合併
31M210-0831A	31D210-0831A	文化コンプレキシティ演習Ⅰ	前島 志保	2	A	水2	8-319	

※時間割変更(曜限・教室変更等)や集中講義については、総合文化大学院チームホームページ(<https://www.c.u-tokyo.ac.jp/graduate/>)に掲載しますので参照してください。
また、Aセメスター(A1・A2ターム)開講科目の曜限、教室については、Aセメスター開講前に総合文化研究科ホームページに掲載します。

2023年度時間割(大学院総合文化研究科)

超域文化科学専攻

時間割番号		科目名	担当教員	単位	学期	曜限	教室	備考
修士	博士							
31M210-0841A	31D210-0841A	文化コンプレキシティ演習Ⅱ	佐藤 光	2	A	火3	8-319	
31M210-0850A	31D210-0850A	文化コンプレキシティ演習Ⅲ	渡辺 美季	2	A	火2	14-605	
31M210-0861A	31D210-0861A	文化コンプレキシティ演習Ⅳ	徳盛 誠	2	A	水5	8-319	
31M210-0872A	31D210-0872A	文化コンプレキシティ演習Ⅴ	永井 久美子	2	A	月4	8-319	
31M210-0881A	31D210-0881A	文化コンプレキシティ演習Ⅵ	田村 隆	2	A	水3	14-605	
31M210-0920A	31D210-0920A	比較詩学Ⅱ	齋藤 希史	2	A	金3	赤門総合研究棟 赤門738	文学部・人文社会系合併
31M210-0980A	31D210-0980A	比較ナラトロジーⅡ	伊藤 徳也	2	A	水4	8-324	学部合併
31M210-1000A	31D210-1000A	比較思考分析Ⅱ	齋藤 幸平	2	A	木2	14-708	
31M210-1020A	31D210-1020A	比較文学比較文化演習Ⅰ	田口 一郎	2	A	水3	14-603B	文学部・人文社会系合併
31M210-1021A	31D210-1021A	比較文学比較文化演習Ⅰ	佐々木 悠介	2	A	月3	8-324	
31M210-1031A	31D210-1031A	比較文学比較文化演習Ⅱ	出口 智之	2	A	金2	14-706	
31M210-1040A	31D210-1040A	比較文学比較文化演習Ⅲ	松井 裕美	2	A	金4	8-319	
31M210-1061A	31D210-1061A	比較文学比較文化演習Ⅴ	國分 功一郎	2	A	金4	EAAセミナー室(101-11号室)	学部合併
31M210-1070A	31D210-1070A	比較文学比較文化演習Ⅵ	石原 剛	2	A	火2	8-317	

【超域文化科学専攻 共通】

31M210-1214A	31D210-1214A	超域文化科学特別講義Ⅰ	古庄 真敬	2	A	水4	14-708	学部合併
31M210-1222A	31D210-1222A	超域文化科学特別講義Ⅱ	三浦 篤	2	A	水2	美術博物館セミナー室	
31M210-1224A	31D210-1224A	超域文化科学特別講義Ⅱ	青山 英正	2	A	金3	5-516	
31M210-1280A		超域文化科学演習Ⅰ	各教員	2	A			
31M210-1290A		超域文化科学演習Ⅱ	各教員	2	A			
	31D210-3010A	超域文化科学特別演習Ⅰ	各教員	2	A			
	31D210-3020A	超域文化科学特別演習Ⅱ	各教員	2	A			

1. 時間・教室が空欄のものは、授業担当教員に確認すること。
2. 修士課程の論文指導科目「超域文化科学演習Ⅰ・Ⅱ」は、各学期2単位で開講し、それぞれ4単位を上限として履修できる。
ただし、演習Ⅱは演習Ⅰを4単位取得してから履修できるものとする。
3. 博士課程の論文指導科目「超域文化科学特別演習Ⅰ・Ⅱ」は、各学期2単位で開講し、それぞれ4単位を上限として履修できる。
ただし、演習Ⅱは演習Ⅰを4単位取得してから履修できるものとする。
4. 日程が決まっていない集中講義については、日程が決まり次第掲示により周知する。
5. 教室欄の○-○○○は、(号館)-(部屋番号)を表す。

2023年度時間割(大学院総合文化研究科)

地域文化研究専攻

時間割番号		科目名	担当教員	単位	学期	曜限	教室	備考
修士	博士							
31M220-0023A	31D220-0023A	多元地域協力論Ⅱ	川島 真	2	A	火2	5-518	
31M220-0040A	31D220-0040A	広域文明形成論Ⅱ	後藤 春美	2	A	月5	8-320	
31M220-0060A	31D220-0060A	文明技術遷移論Ⅱ	和田 毅	2	A	水5	8-210	
31M220-0073A	31D220-0073A	現代民族動態論Ⅰ	川喜田 敦子	2	A	金2	8-205	学部合併
31M220-0090A	31D220-0090A	多地域文化横断論Ⅰ	中村 元哉	2	A	月3	1-104	
31M220-0100A	31D220-0100A	多地域文化横断論Ⅱ	張 政達 モスディバン, オレクサント'ル	2	A	水4	18-817	
31M220-0120A	31D220-0120A	地域アイデンティティ複合Ⅱ	森山 工	2	A	金5	8-324	学部合併
31M220-0130A	31D220-0130A	多元世界解析演習Ⅰ	西海 洋志	2	A	月5	8-324	
31M220-0136A	31D220-0136A	多元世界解析演習Ⅰ	高橋 史子	2	A	水2	21KOMCEE West K401	
31M220-0140A	31D220-0140A	多元世界解析演習Ⅱ	木宮 正史	2	A	火2	8-205	
31M220-0150A	31D220-0150A	多元世界解析演習Ⅲ	王 欽	2	A	火4	8-205	
31M220-0313A	31D220-0313A	ヨーロッパ地域システムⅠ	西川 杉子	2	A	火2	8-320	学部合併
31M220-0320A	31D220-0320A	ヨーロッパ地域システムⅡ	森井 裕一	2	A	金3	8-210	
31M220-0330A	31D220-0330A	ロシア・東欧比較地域論Ⅰ	鳥山 祐介	2	A	火4	8-113	学部合併
31M220-0350A	31D220-0350A	西欧基層文化論Ⅰ	桑田 光平	2	A	水5	8-323	
31M220-0360A	31D220-0360A	西欧基層文化論Ⅱ	アルヴィ宮本なほ子	2	A	火4	8-320	学部合併
31M220-0376A	31D220-0376A	近代ヨーロッパ文化変容論Ⅰ	原 和之	2	A	水5	8-209	
31M220-0379A	31D220-0379A	近代ヨーロッパ文化変容論Ⅰ	速水 淑子	2	A	金4	11-1103	
31M220-0383A	31D220-0383A	近代ヨーロッパ文化変容論Ⅱ	大石 和欣	2	A	月2	8-324	学部合併
31M220-0390A	31D220-0390A	ヨーロッパ・ロシア地域文化演習Ⅰ	浜田 華練	2	A	火3	21KOMCEE West K501	
31M220-0400A	31D220-0400A	ヨーロッパ・ロシア地域文化演習Ⅱ	鶴見 太郎	2	A	水2	8-207	
31M220-0410A	31D220-0410A	ヨーロッパ・ロシア地域文化演習Ⅲ	藤岡 俊博	2	A	水3	8-320	
31M220-0523A	31D220-0523A	地中海文化干渉論Ⅱ	田中 創	2	A	火2	14-706	人文社会系合併
31M220-0530A	31D220-0530A	地中海文化構造論Ⅰ	藤崎 衛	2	A	火4	8-207	人文社会系合併
31M220-0540A	31D220-0540A	地中海文化構造論Ⅱ	村松 真理子	2	A	火5	8-324	学部合併
31M220-0550A	31D220-0550A	多民族文化接触論Ⅰ	棚瀬 あずさ	2	A	火5	5-515	
31M220-0570A	31D220-0570A	イスラム比較地域論Ⅰ	大塚 修	2	A	月2	14-605	
31M220-0580A	31D220-0580A	イスラム比較地域論Ⅱ	荻谷 康太	2	A	金4	21KOMCEE West K201	
31M220-0590A	31D220-0590A	地中海・イスラム地域文化演習Ⅰ	鈴木 啓之	2	A	火2	12-1233	
31M220-0600A	31D220-0600A	地中海・イスラム地域文化演習Ⅱ	高橋 英海	2	A	水5	8-112	
31M220-0613A	31D220-0613A	地中海・イスラム地域文化演習Ⅲ	渡邊 祥子	2	A	水3	東文研804	
31M220-0620A	31D220-0620A	地中海・イスラム地域文化演習Ⅳ	秋葉 淳	2	A	金4	東文研3F第2 会議室	
31M220-0710A	31D220-0710A	現代アメリカ文明論Ⅰ	土屋 和代	2	A	木2	8-210	
31M220-0733A	31D220-0733A	中南米社会構造論Ⅰ	網野 徹哉	2	A	火2	5-534	
31M220-0760A	31D220-0760A	エスニシティ文化変容論Ⅱ	矢口 祐人	2	A	水3	5-534	学際情報学府合併
31M220-0803A	31D220-0803A	北米・中南米地域文化演習Ⅰ	井上 博之	2	A	金4	8-209	学部合併
31M220-0813A	31D220-0813A	北米・中南米地域文化演習Ⅱ	上 英明	2	A	水3	11-1109	
31M220-0820A	31D220-0820A	北米・中南米地域文化演習Ⅲ	宮地 隆廣	2	A	金4	8-320	学部合併
31M220-0833A	31D220-0833A	北米・中南米地域文化演習Ⅳ	受田 宏之	2	A	水3	8-324	
31M220-0836A	31D220-0836A	北米・中南米地域文化演習Ⅳ	竹村 文彦	2	A	月2	8-320	
31M220-0910A	31D220-0910A	アジア複合文化論Ⅰ	石井 剛	2	A	水5	EAAセミナー室 (101-11号室)	人文社会系合併
31M220-0913A	31D220-0913A	アジア複合文化論Ⅰ	ハチウス, ミハエル	2	A	火2	8-110	
31M220-0923A	31D220-0923A	アジア複合文化論Ⅱ	谷垣 真理子	2	A	水2	8-320	

※時間割変更(曜限・教室変更等)や集中講義については、総合文化大学院チームホームページ(<https://www.c.u-tokyo.ac.jp/graduate/>)に掲載しますので参照してください。
また、Aセメスター(A1・A2ターム)開講科目の曜限、教室については、Aセメスター開講前に総合文化研究科ホームページに掲載します。

2023年度時間割(大学院総合文化研究科)

地域文化研究専攻

時間割番号		科目名	担当教員	単位	学期	曜限	教室	備考
修士	博士							
31M220-0936A	31D220-0936A	多民族交錯論Ⅰ	杉山 清彦	2	A	火4	14-605	
31M220-0950A	31D220-0950A	アジア社会比較発展論Ⅰ	田原 史起	2	A	水4	8-112	学部合併
31M220-0960A	31D220-0960A	アジア社会比較発展論Ⅱ	有田 伸	2	A	水3	法文1号館117教室	人文社会系合併
31M220-0970A	31D220-0970A	アジア太平洋文化交流論Ⅰ	岡田 泰平	2	A	月5	14-605	
31M220-0980A	31D220-0980A	アジア太平洋文化交流論Ⅱ	高山 大毅	2	A	月2	8-210	学部・人文社会系合併
31M220-0990A	31D220-0990A	アジア太平洋地域文化演習Ⅰ	月脚 達彦	2	A	金5	8-113	学部・人文社会系合併
31M220-1000A	31D220-1000A	アジア太平洋地域文化演習Ⅱ	松田 康博	2	A	水1	8-110	学部・法学政治学合併
31M220-1010A	31D220-1010A	アジア太平洋地域文化演習Ⅲ	阿古 智子	2	A	水3	11-1103	
31M220-1020A	31D220-1020A	アジア太平洋地域文化演習Ⅳ	外村 大	2	A	金4	14-605	
31M220-1023A	31D220-1023A	アジア太平洋地域文化演習Ⅳ	渡辺 美季	2	A	火2	14-605	
31M220-1150A	31D220-1150A	環インド洋地域文化演習Ⅰ	内川 秀二	2	A	金2	8-112	学部合併
31M220-1220A	31D220-1220A	アメリカ太平洋基層文化論Ⅱ	平松 彩子	2	A	金2	8-321	
31M220-1230A	31D220-1230A	アメリカ太平洋文化交流論Ⅰ	橋川 健竜	2	A	火2	8-113	
31M220-1243A	31D220-1243A	アメリカ太平洋文化交流論Ⅱ	中野 耕太郎	2	A	水3	14-706	
31M220-1250A	31D220-1250A	アメリカ太平洋地域文化演習Ⅰ	ギンズバーグ, レスリー	2	A	木3	8-317	
31M220-1260A	31D220-1260A	アメリカ太平洋地域文化演習Ⅱ	スミス, ロドニー	2	A	木2	8-112	
31M220-1350A	31D220-1350A	地域文化研究特殊研究Ⅲ	河原 ノリエ	2	A	水1		医学系合併
31M220-1356A	31D220-1356A	地域文化研究特殊研究Ⅲ	金 志善	2	A	金3	8-206	学部合併
31M220-1363A	31D220-1363A	地域文化研究特殊研究Ⅳ	野田 真里	2	A	金3	8-113	学部合併
31M220-1367A	31D220-1367A	地域文化研究特殊研究Ⅳ	モステイバン, アレクサンドル	2	A	火2	21KOMCEE West K301	
31M220-1377A	31D220-1377A	地域文化研究特殊研究Ⅴ	未定	2	A	集中		
31M220-1386A	31D220-1386A	地域文化研究特殊研究Ⅵ	ドゥルマジュール, ラウル	2	A	月4	8-205	学部合併
31M220-1510A	31D220-1510A	地域文化研究特殊研究Ⅷ	後藤 はる美	1	A1	月3	8-207	学部合併
31M220-1390A		地域文化研究演習Ⅰ	各教員	2	A			
31M220-1400A		地域文化研究演習Ⅱ	各教員	2	A			
	31D220-3010A	地域文化研究特別演習Ⅰ	各教員	2	A			
	31D220-3020A	地域文化研究特別演習Ⅱ	各教員	2	A			

1. 時間・教室が空欄のものは、授業担当教員に確認すること。
2. 修士課程の論文指導科目「地域文化研究演習Ⅰ・Ⅱ」は、各学期2単位で開講し、それぞれ4単位を上限として履修できる。
ただし、演習Ⅱは演習Ⅰを4単位取得してから履修できるものとする。
3. 博士課程の論文指導科目「地域文化研究特別演習Ⅰ・Ⅱ」は、各学期2単位で開講し、それぞれ4単位を上限として履修できる。
ただし、演習Ⅱは演習Ⅰを4単位取得してから履修できるものとする。
4. 日程が決まっていない集中講義については、日程が決まり次第掲示により周知する。
5. 教室欄の○-○○○は、(号館)-(部屋番号)を表す。

2023年度時間割(大学院総合文化研究科)

国際社会科学専攻

時間割番号		科目名	担当教員	単位	学期	曜限	教室	備考
修士	博士							
31M230-0020A	31D230-0020A	国際開発論Ⅱ	鍾 非	2	A	火2	5-517	
31M230-0040A	31D230-0040A	国際交流論Ⅱ	西海 洋志	2	A	月5	8-324	
31M230-0050A	31D230-0050A	国際経済協力論Ⅰ	竹野 太三	2	A	金4	8-317	
31M230-0070A	31D230-0070A	国際社会統合論Ⅰ	後藤 春美	2	A	月5	8-320	
31M230-0072A	31D230-0072A	国際社会統合論Ⅰ	鶴見 太郎	2	A	水2	8-207	
31M230-0081A	31D230-0081A	国際社会統合論Ⅱ	森井 裕一	2	A	金3	8-210	
31M230-0082A	31D230-0082A	国際社会統合論Ⅱ	高橋 史子	2	A	水2	21KOMCEE West K401	
31M230-0130A	31D230-0130A	国際協力論演習Ⅰ	中西 徹	2	A	金5	8-206	経済学合併
31M230-0132A	31D230-0132A	国際協力論演習Ⅰ	受田 宏之	2	A	水3	8-324	
31M230-0142A	31D230-0142A	国際協力論演習Ⅱ	関谷 雄一	2	A	木2	8-207	
31M230-0150A	31D230-0150A	国際協力論実験実習Ⅰ	遠藤 貢	2	A	火4	11-1103	
31M230-0162A	31D230-0162A	国際協力論実験実習Ⅱ	清水 剛	2	A	水4	5-515	
31M230-0171A	31D230-0171A	国際協力論実験実習Ⅲ	岡地 迪尚	2	A	金4	8-324	
31M230-0321A	31D230-0321A	国際関係史Ⅱ	酒井 哲哉	2	A	月3	12-1211	
31M230-0351A	31D230-0351A	国際関係法Ⅰ	小粥 太郎	2	A	月4	1-118	
31M230-0360A	31D230-0360A	国際関係法Ⅱ	中島 啓	2	A	木2	法文1号館B2 演習室	法学政治学合併
31M230-0361A	31D230-0361A	国際関係法Ⅱ	北村 朋史	2	A	金3	12-1223	
31M230-0412S	31D230-0412S	比較現代政治Ⅰ	東島 雅昌	2	A	火2	法文1号館A1 演習室	法学政治学合併
31M230-0420A	31D230-0420A	比較現代政治Ⅱ	和田 毅	2	A	水5	8-210	
31M230-0421A	31D230-0421A	比較現代政治Ⅱ	木宮 正史	2	A	火2	8-205	
31M230-0422A	31D230-0422A	比較現代政治Ⅱ	マッケルウェイン ケネス	2	A	水3	法文1号館19 番教室	法学政治学・公共政策・ 学際情報学府合併
31M230-0432A	31D230-0432A	国際関係論演習Ⅰ	川島 真	2	A	火2	5-518	
31M230-0450A	31D230-0450A	国際関係論演習Ⅲ	伊藤 武	2	A	木3	8-321	法学政治学合併
31M230-0452A	31D230-0452A	国際関係論演習Ⅲ	西村 弓	2	A	金2	5-534	法学政治学合併
31M230-0460A	31D230-0460A	国際関係論実験実習Ⅰ	石田 淳	2	A	金2	8-320	法学政治学合併
31M230-0461A	31D230-0461A	国際関係論実験実習Ⅰ	吉本 郁	2	A	火5	2-303	
31M230-0462A	31D230-0462A	国際関係論実験実習Ⅰ	湯川 拓	2	A	月2	8-208	
31M230-0470A	31D230-0470A	国際関係論実験実習Ⅱ	阪本 拓人	2	A	金4	情報教育棟 E35	学部合併
31M230-0471A		国際関係論実験実習Ⅱ	岩月 直樹	2	A	火5	1-113	学部合併
31M230-0610A	31D230-0610A	日本政治分析Ⅰ	内山 融	2	A	月3	8-208	法学政治学合併
31M230-0700A	31D230-0700A	コミュニティ形成論Ⅱ	瀬地山 角	2	A	月5	8-209	
31M230-0710A	31D230-0710A	公共政策論演習Ⅰ	山本 芳久	2	A	火2		学部合併
31M230-0711A	31D230-0711A	公共政策論演習Ⅰ	井上 彰	2	A	水5	5-515	
31M230-0720A	31D230-0720A	公共政策論演習Ⅱ	福岡 安都子	2	A	木3	12-1233	学部合併
31M230-0730A	31D230-0730A	公共政策論実験実習Ⅰ	鹿毛 利枝子	2	A	金4	12-1231	学部合併
31M230-0920A	31D230-0920A	現代社会論Ⅱ	高見 典和	2	A	火3	11-1109	
31M230-0950A	31D230-0950A	計量社会科学Ⅰ	藤原 翔	2	A	水2	5-534	
31M230-0971A	31D230-0971A	比較社会論Ⅰ	市野川 容孝	2	A	水2	11-1109	
31M230-1010A	31D230-1010A	関連社会科学演習Ⅰ	橋本 摂子	2	A	火4	8-206	
31M230-1012A	31D230-1012A	関連社会科学演習Ⅰ	馬路 智仁	2	A	金3	11-1109	学部合併
31M230-1020A	31D230-1020A	関連社会科学演習Ⅱ	小山 裕	2	A	火3	11-1105	
31M230-1021A	31D230-1021A	関連社会科学演習Ⅱ	阿古 智子	2	A	水3	11-1103	
31M230-1031A	31D230-1031A	関連社会科学演習Ⅲ	森 政稔	2	A	火5	5-516	

※時間割変更(曜限・教室変更等)や集中講義については、総合文化大学院チームホームページ(<https://www.c.u-tokyo.ac.jp/graduate/>)に掲載しますので参照してください。
また、Aセメスター(A1・A2ターム)開講科目の曜限、教室については、Aセメスター開講前に総合文化研究科ホームページに掲載します。

2023年度時間割(大学院総合文化研究科)

国際社会科学専攻

時間割番号		科目名	担当教員	単位	学期	曜限	教室	備考
修士	博士							
31M230-1041A	31D230-1041A	国際社会科学実験実習Ⅰ	佐藤 俊樹	2	A	水5	5-517	
31M230-1042A	31D230-1042A	国際社会科学実験実習Ⅰ	市野川 容孝	2	A	集中		
31M230-1051A	31D230-1051A	国際社会科学実験実習Ⅱ	倉田 博史	2	A	月5	8-205	経済学合併
31M230-1052A	31D230-1052A	国際社会科学実験実習Ⅱ	佐藤 俊樹	2	A	集中		
31M230-1053A	31D230-1053A	国際社会科学実験実習Ⅱ	市野川 容孝	2	A	集中		学部合併
31M230-1110A	31D230-1110A	国際社会科学特別講義Ⅰ	張 志雲	2	A	集中		
31M230-1121A	31D230-1121A	国際社会科学特別講義Ⅱ	福元 健太郎	2	A	水3	情報基盤センター大演習室1	学部・法学政治学・公共政策合併
31M230-1122A	31D230-1122A	国際社会科学特別講義Ⅱ	傅 凱儀	2	A	木5	8-112	
31M230-1133A	31D230-1133A	国際社会科学特別講義Ⅲ	黒崎 将広	2	A	金4	1-162	学部合併
31M230-1141A	31D230-1141A	国際社会科学特別講義Ⅳ	榎本 珠良	2	A	金2	21KOMCEE East K211	学部合併
31M230-1146A	31D230-1146A	国際社会科学特別講義Ⅳ	内海 隆明	2	A	水5	1-164	学部合併
31M230-1151T	31D230-1151T	国際社会科学特殊研究Ⅰ	コース主任	4	T			
31M230-1152T	31D230-1152T	国際社会科学特殊研究Ⅰ	コース主任	4	T			
31M230-1161T	31D230-1161T	国際社会科学特殊研究Ⅱ	コース主任	4	T			
31M230-1172A	31D230-1172A	国際社会科学特殊研究Ⅲ	市野川 容孝	2	A	集中		学部合併
31M230-1183A		国際社会科学特殊研究Ⅳ	内山 融	2	A	木3	11-1103	学部合併
31M230-1210A	31D230-1210A	国際社会科学特殊研究Ⅴ	湯川 拓	4	A	火2・水2	8-210	
31M230-1212A	31D230-1212A	国際社会科学特殊研究Ⅴ	竹野 太三	4	A	月2・月4	21KOMCEE East K211	
31M230-1190A		国際社会科学演習Ⅰ	各教員	2	A			
31M230-1200A		国際社会科学演習Ⅱ	各教員	2	A			
	31D230-3010A	国際社会科学特別演習Ⅰ	各教員	2	A			
	31D230-3020A	国際社会科学特別演習Ⅱ	各教員	2	A			

1. 時間・教室が空欄のものは、授業担当教員に確認すること。
2. 修士課程の論文指導科目「国際社会科学演習Ⅰ・Ⅱ」は、各学期2単位で開講し、それぞれ4単位を上限として履修できる。
ただし、演習Ⅱは演習Ⅰを4単位取得してから履修できるものとする。
3. 博士課程の論文指導科目「国際社会科学特別演習Ⅰ・Ⅱ」は、各学期2単位で開講し、それぞれ4単位を上限として履修できる。
ただし、演習Ⅱは演習Ⅰを4単位取得してから履修できるものとする。
4. 日程が決まっていない集中講義については、日程が決まり次第掲示により周知する。
5. 教室欄の〇-〇〇〇は、(号館)-(部屋番号)を表す。

2023年度時間割(大学院総合文化研究科)

広域科学専攻(生命環境科学系)

時間割番号		科目名	担当教員	単位	学期	曜限	教室	備考
修士	博士							
31M281-0040A	31D281-0040A	環境適応機構論Ⅱ	阿部 光知	2	A	月3	15-316	学部合併
31M281-0041A	31D281-0041A	環境適応機構論Ⅱ	岡田 由紀	2	A	集中		
31M281-0070T	31D281-0070T	環境応答論演習Ⅰ	加納 純子	2	T	水2	16-107	
31M281-0080T	31D281-0080T	環境応答論演習Ⅱ	晝間 敬	2	T	金3		
31M281-0081T	31D281-0081T	環境応答論演習Ⅱ	阿部 光知	2	T	火3	15-316	
31M281-0082T	31D281-0082T	環境応答論演習Ⅱ	渡邊 雄一郎	2	T	月2		
31M281-0090T	31D281-0090T	環境応答論演習Ⅲ	若杉 桂輔	2	T	水1・水2	3-114	
31M281-0211A	31D281-0211A	情報分子構造論Ⅰ	吉本 敬太郎	2	A	金3		学部合併
31M281-0291T	31D281-0291T	生命情報学演習Ⅰ	市橋 伯一	2	T	月2		
31M281-0293T	31D281-0293T	生命情報学演習Ⅰ	吉本 敬太郎	2	T	月1		
31M281-0301T	31D281-0301T	生命情報学演習Ⅱ	和田 元	2	T	火2		
31M281-0302T	31D281-0302T	生命情報学演習Ⅱ	矢島 潤一郎	2	T	月1		
31M281-0310T	31D281-0310T	生命情報学演習Ⅲ	太田 邦史	2	T	金2	3-113	
31M281-0312T	31D281-0312T	生命情報学演習Ⅲ	白髭 克彦	2	T	月2	定量研総合研 究棟B104	
31M281-0320T	31D281-0320T	生命情報学演習Ⅳ	坪井 貴司	2	T	水2	3-116	夏学期から受講すること
31M281-0321T	31D281-0321T	生命情報学演習Ⅳ	大杉 美穂	2	T	水1		
31M281-0420A	31D281-0420A	生体構造ダイナミクス論Ⅱ	北西 卓磨	2	A	月1	3-007	
31M281-0450A	31D281-0450A	生体機能設計学Ⅰ	加藤 英明	2	A	金3	16-126/127	学部合併
31M281-0460A	31D281-0460A	生体機能設計学Ⅱ	竹内 昌治	2	A	集中		
31M281-0470A	31D281-0470A	生命機能論Ⅰ	佐藤 守俊	2	A	水2	16-126/127	学部合併
31M281-0481A	31D281-0481A	生命機能論Ⅱ	野本 貴大	2	A	木2	3-113	
31M281-0490T	31D281-0490T	生命機能論演習Ⅰ	新井 宗仁	2	T	火2	16-624	
31M281-0491T	31D281-0491T	生命機能論演習Ⅰ	北西 卓磨	2	T	月2	3-007	
31M281-0492T	31D281-0492T	生命機能論演習Ⅰ	道上 達男	2	T	金3	3-113	
31M281-0500T	31D281-0500T	生命機能論演習Ⅱ	加藤 英明	2	T	月1・月2	T-302	
31M281-0501T	31D281-0501T	生命機能論演習Ⅱ	佐藤 健	2	T	月1・月2	16-721	
31M281-0502T	31D281-0502T	生命機能論演習Ⅱ	林 勇樹	2	T	金2	3-114	
31M281-0510T	31D281-0510T	生命機能論演習Ⅲ	佐藤 守俊 河野 風雲	2	T	土1・土2		
31M281-0511T	31D281-0511T	生命機能論演習Ⅲ	竹内 昌治	2	T	火3		
31M281-0512T	31D281-0512T	生命機能論演習Ⅲ	野本 貴大	2	T			
31M281-0520T	31D281-0520T	生命機能論演習Ⅳ	末次 憲之	2	T	水2	15-309A	
31M281-0630A	31D281-0630A	運動機能論Ⅰ	柳原 大	2	A	月5	21KOMCEE West K402	学部合併
31M281-0660A	31D281-0660A	生体動作制御学Ⅱ	久保 啓太郎	2	A	月1	9-会議室	
31M281-0671A	31D281-0671A	運動適応科学演習Ⅰ	福井 尚志	2	A	金3	9-213	
31M281-0681A	31D281-0681A	運動適応科学演習Ⅱ	寺田 新	2	A	金3	9-211	
31M281-0690A	31D281-0690A	運動適応科学演習Ⅲ	竹下 大介	2	A	月4	9-117	
31M281-0700A	31D281-0700A	運動適応科学演習Ⅳ	高橋 祐美子	2	A	金2	8-418	
31M281-0701A	31D281-0701A	運動適応科学演習Ⅳ	八田 秀雄	2	A	金2	8-110	
31M281-0830A	31D281-0830A	認知機構論Ⅰ	本吉 勇	2	A	火3	5-532	学部合併
31M281-0871A	31D281-0871A	行動適応論Ⅰ	佐々木 一茂	2	A	月4	21KOMCEE West K101	
31M281-0890A	31D281-0890A	認知行動科学	石垣 琢磨	2	A	木2	2-109	
31M281-0900T	31D281-0900T	認知行動科学演習Ⅰ	本吉 勇	2	T	金3	3-103B	
31M281-0902T	31D281-0902T	認知行動科学演習Ⅰ	吉岡 伸輔	2	T	月4	9-会議室	夏学期から受講すること

※時間割変更(曜限・教室変更等)や集中講義については、総合文化大学院チームホームページ(<https://www.c.u-tokyo.ac.jp/graduate/>)に掲載しますので参照してください。
また、Aセメスター(A1・A2ターム)開講科目の曜限、教室については、Aセメスター開講前に総合文化研究科ホームページに掲載します。

2023年度時間割(大学院総合文化研究科)

広域科学専攻(生命環境科学系)

時間割番号		科目名	担当教員	単位	学期	曜限	教室	備考
修士	博士							
31M281-0911T	31D281-0911T	認知行動科学演習Ⅱ	香田 啓貴	2	T	金1	3-215	
31M281-0912T	31D281-0912T	認知行動科学演習Ⅱ	四本 裕子	2	T	木1	2-101	
31M281-0913T	31D281-0913T	認知行動科学演習Ⅱ	石垣 琢磨	2	T	木1	2-109	
31M281-0914T	31D281-0914T	認知行動科学演習Ⅱ	小池 進介	2	T	金3	17-1732	
31M281-0915T	31D281-0915T	認知行動科学演習Ⅱ	中村 優子	2	T	金1	17-1733	
31M281-0920T	31D281-0920T	認知行動科学演習Ⅲ	工藤 和俊	2	T	水4	9-会議室	
31M281-0922T	31D281-0922T	認知行動科学演習Ⅲ	竹下 大介	2	T	火5	3-113	シラバスを確認すること
31M281-0923A	31D281-0923A	認知行動科学演習Ⅲ	佐々木 一茂	2	A	集中		
31M281-1070A	31D281-1070A	生命環境科学特別講義Ⅶ	田畑 泉	2	A	集中		学部合併
31M281-1100A	31D281-1100A	生命環境科学特殊講義Ⅱ	矢島 潤一郎	2	A	金1	8-112	
31M281-1110A	31D281-1110A	生命環境科学特殊講義Ⅲ	寺田 新	2	A	金4	9-211	
31M281-1111A	31D281-1111A	生命環境科学特殊講義Ⅲ	竹下 大介	2	A	月3	9-117	
31M281-1130A	31D281-1130A	生命環境科学特殊講義Ⅴ	八田 秀雄	2	A	木2	9-209	
31M281-1131A	31D281-1131A	生命環境科学特殊講義Ⅴ	高橋 祐美子	2	A	金1	8-418	
31M281-1140A	31D281-1140A	生命環境科学特殊講義Ⅵ	白髭 克彦・大杉 美穂・岡田 由紀	2	A	集中		
31M281-1160A	31D281-1160A	生命環境科学特殊講義Ⅷ	白髭 克彦	2	A	集中		
	31D281-1340A	生命環境科学特別講義ⅩⅣ	寺田 新	2	A	-		ジョブ型インターンシップ科目
	31D281-1380A	生命環境科学特別講義ⅩⅧ	寺田 新	1	A	-		ジョブ型インターンシップ科目
31M281-1170A		生命環境科学特殊研究Ⅰ	各教員	4	A			
31M281-1180A		生命環境科学特殊研究Ⅱ	各教員	4	A			
31M281-1190A		生命環境科学特殊研究Ⅲ	各教員	4	A			
31M281-1200A		生命環境科学特殊研究Ⅳ	各教員	4	A			
31M281-1210A		生命環境科学演習Ⅰ	各教員	1	A			修士1年・必修
31M281-1220A		生命環境科学演習Ⅱ	各教員	1	A			修士2年・必修
	31D281-2010A	広域科学特別研究Ⅰ	各教員	2	A			博士1年・必修
	31D281-2020A	広域科学特別研究Ⅱ	各教員	2	A			博士2年・必修
	31D281-2030A	広域科学特別研究Ⅲ	各教員	2	A			博士3年・必修
	31D281-3010A	広域科学特別演習Ⅰ	各教員	1	A			博士1年・必修
	31D281-3020A	広域科学特別演習Ⅱ	各教員	1	A			博士2年・必修
	31D281-3030A	広域科学特別演習Ⅲ	各教員	1	A			博士3年・必修

- 時間・教室が空欄のものは、授業担当教員に確認すること。
- 修士課程の「生命環境科学特殊研究Ⅰ～Ⅳ」の計16単位、「生命環境科学演習Ⅰ・Ⅱ」の計4単位は必修科目なので必ず履修すること。
履修にあたっては、以下の点に留意すること。
 - 生命環境科学特殊研究はⅠからⅣ、生命環境科学演習はⅠ・Ⅱの番号順に履修すること。
 - 各セメスターにつき履修登録できるのは、生命環境科学特殊研究、生命環境科学演習それぞれ1科目のみである。
- 博士課程の「広域科学特別研究Ⅰ～Ⅲ」の計12単位、「広域科学特別演習Ⅰ～Ⅲ」の計6単位は必修科目なので必ず履修すること。
履修にあたっては、以下の点に留意すること。
 - 広域科学特別研究、広域科学特別演習ともにⅠ～Ⅲの番号順に履修すること。
 - 各セメスターにつき履修登録できるのは、広域科学特別研究、広域科学特別演習それぞれ1科目のみである。
- 日程が決まっていなかった集中講義については、日程が決まり次第掲示により周知する。
- 教室欄の○-○○○は、(号館)-(部屋番号)を表す。
- 生命環境科学特別講義Ⅰ～ⅩⅧのうち担当教員が異なる場合は同一科目の重複履修を認める。

2023年度時間割(大学院総合文化研究科)

広域科学専攻(広域システム科学系)

時間割番号		科目名	担当教員	単位	学期	曜限	教室	備考
修士	博士							
31M282-0020A	31D282-0020A	システム理論Ⅱ	松島 慎	2	A	月5	15-104	学部合併
31M282-0040A	31D282-0040A	離散系システム論Ⅱ	森畑 明昌	2	A	月4	15-104	学部合併
31M282-0070A	31D282-0070A	自然システム論Ⅰ	齋藤 晴雄	2	A	月4	15-106	
31M282-0080A	31D282-0080A	自然システム論Ⅱ	池上 高志	2	A	金3	15-507	学部合併
31M282-0100A	31D282-0100A	基礎システム学輪講Ⅱ	鈴木 建	1	A	-		学部合併、要履修申込 (詳細はUTAS参照)
31M282-0120A	31D282-0120A	基礎システム学輪講Ⅳ	成田 憲保	1	A	-		学部合併、要履修申込 (詳細はUTAS参照)
31M282-0160A	31D282-0160A	基礎システム学輪講Ⅷ	鈴木 建	1	A	-		学部合併、要履修申込 (詳細はUTAS参照)
31M282-0180A	31D282-0180A	基礎システム学輪講Ⅹ	金井 崇・金子 知適・ 森畑 明昌・山口 泰・ 品川 高廣	1	A	-		
31M282-0230A	31D282-0230A	情報組織論Ⅰ	金子 知適	2	A	火2	15-106	
31M282-0270A	31D282-0270A	応用情報論Ⅱ	開 一夫	2	A	水2	15-101	学部合併
31M282-0320A	31D282-0320A	情報システム学輪講Ⅳ	松島 慎	1	A	-		要履修申込 (詳細はUTAS参照)
31M282-0340A	31D282-0340A	情報システム学輪講Ⅵ	山口 泰	1	A	-		学部合併、要履修申込 (詳細はUTAS参照)
31M282-0420A	31D282-0420A	地球変遷論Ⅱ	黒川 宏之	2	A	水3	15-106	
31M282-0430A	31D282-0430A	生物社会学Ⅰ	池田 啓	2	A	木2	15-106	
31M282-0450A	31D282-0450A	生態システム論Ⅰ	増田 建	2	A	月3	15-101	学部合併
31M282-0470A	31D282-0470A	物質エネルギー循環論Ⅰ	苅原 寂樹	2	A	月2	15-104	学部合併
31M282-0520A	31D282-0520A	自然体系学輪講Ⅳ	小宮 剛	1	A	-		要履修申込 (詳細はUTAS参照)
31M282-0590A	31D282-0590A	自然体系学輪講Ⅹ	西郷 甲矢人	1	A	集中	21KOMCEE East K213	
31M282-0650A	31D282-0650A	環境計画論Ⅰ	鎌倉 夏来	2	A	水4	2-202	
31M282-0670A	31D282-0670A	環境計画論Ⅲ	小田 隆史	2	A	火2	2号館2階 地図室	
31M282-0710A	31D282-0710A	空間計画論Ⅱ	横山 ゆりか	2	A	水2	15-106	
31M282-0750A	31D282-0750A	複合系計画学輪講Ⅱ	植田 一博	1	A	-		
31M282-0770A	31D282-0770A	複合系計画学輪講Ⅳ	舘 知宏	1	A	-		学部合併、要履修申込 (詳細はUTAS参照)
31M282-0900A	31D282-0900A	複合系計画学輪講Ⅷ	金子 知適	1	A	-		学部合併、要履修申込 (詳細はUTAS参照)
31M282-0940A	31D282-0940A	複合系計画学輪講Ⅹ	Zhong You	1	A	集中		
31M282-0810A	31D282-0810A	広域システム科学特別講義Ⅰ	深井 朋樹	1	A	集中	15-409	
31M282-0910A	31D282-0910A	広域システム科学特別講義Ⅴ	犬塚 修一郎	1	A	集中	15-409	
31M282-0860A	31D282-0860A	広域システム科学特殊講義Ⅱ	西森 拓	1	A	集中	15-409	
31M282-0880A	31D282-0880A	広域システム科学特殊講義Ⅳ	大泉 匡史	2	A	月3	21KOMCEE West K401	学部合併
31M282-0890A	31D282-0890A	広域システム科学特殊講義Ⅴ	若林 芳樹	1	A	集中	2-202	
31M282-1010A		広域システム科学特殊演習Ⅰ	各教員	1	A			修士1年・必修
31M282-1020A		広域システム科学特殊演習Ⅱ	各教員	1	A			修士2年・必修
31M282-1030A		広域システム科学特殊研究Ⅰ	各教員	2	A			修士1年・必修
31M282-1040A		広域システム科学特殊研究Ⅱ	各教員	2	A			修士2年・必修
	31D282-2010A	広域科学特別研究Ⅰ	各教員	2	A			博士1年・必修
	31D282-2020A	広域科学特別研究Ⅱ	各教員	2	A			博士2年・必修
	31D282-2030A	広域科学特別研究Ⅲ	各教員	2	A			博士3年・必修
	31D282-3010A	広域科学特別演習Ⅰ	各教員	1	A			博士1年・必修
	31D282-3020A	広域科学特別演習Ⅱ	各教員	1	A			博士2年・必修
	31D282-3030A	広域科学特別演習Ⅲ	各教員	1	A			博士3年・必修

1. 時間・教室が空欄のものは、授業担当教員に確認すること。

※時間割変更(曜限・教室変更等)や集中講義については、総合文化大学院チームホームページ(<https://www.c.u-tokyo.ac.jp/graduate/>)に掲載しますので参照してください。
また、Aセメスター(A1・A2ターム)開講科目の曜限、教室については、Aセメスター開講前に総合文化研究科ホームページに掲載します。

2023年度時間割(大学院総合文化研究科)

広域科学専攻(広域システム科学系)

2. 修士課程の「広域システム科学特殊演習Ⅰ・Ⅱ」の計4単位、「広域システム科学特殊研究Ⅰ・Ⅱ」の計8単位は必修科目なので必ず履修すること。履修にあたっては、以下の点に留意すること。

- (1) 広域システム科学特殊演習、広域システム科学特殊研究ともにⅠ・Ⅱの番号順に履修すること。
- (2) 各セメスターにつき履修登録できるのは、広域システム科学特殊演習、広域システム科学特殊研究それぞれ1科目のみである。

例)4月入学者は、1年次Sセメスターに「広域システム科学特殊演習Ⅰ」と「広域システム科学特殊研究Ⅰ」を履修登録、次のAセメスターに「広域システム科学特殊演習Ⅰ」と「広域システム科学特殊研究Ⅰ」を履修登録、2年次各セメスターに「広域システム科学特殊演習Ⅱ」と「広域システム科学特殊研究Ⅱ」を履修登録する。

例)10月入学者は、1年次Aセメスターに「広域システム科学特殊演習Ⅰ」と「広域システム科学特殊研究Ⅰ」を履修登録、次のSセメスターに「広域システム科学特殊演習Ⅰ」と「広域システム科学特殊研究Ⅰ」を履修登録、2年次各セメスターに「広域システム科学特殊演習Ⅱ」と「広域システム科学特殊研究Ⅱ」を履修登録する。

3. 博士課程の「広域科学特別研究Ⅰ～Ⅲ」の計12単位、「広域科学特別演習Ⅰ～Ⅲ」の計6単位は必修科目なので必ず履修すること。履修にあたっては、以下の点に留意すること。

- (1) 広域科学特別研究、広域科学特別演習ともにⅠ～Ⅲの番号順に履修すること。
- (2) 各セメスターにつき履修登録できるのは、広域科学特別研究、広域科学特別演習それぞれ1科目のみである。

4. 日程が決まっていない集中講義については、日程が決まり次第掲示により周知する。

5. 教室欄の○-○○○は、(号館)-(部屋番号)を表す。

2023年度時間割(大学院総合文化研究科)

広域科学専攻(関連基礎科学系)

時間割番号		科目名	担当教員	単位	学期	曜限	教室	備考
修士	博士							
31M283-0024A	31D283-0024A	科学史Ⅱ	三村 太郎	2	A	火3	14-308	
31M283-0068A	31D283-0068A	科学技術思想Ⅱ	鈴木 晃仁	2	A	金4	法文1号館214教室	文学部・人文社会系合併
31M283-0075A	31D283-0075A	科学技術思想Ⅲ	廣野 喜幸	2	A	金3	14-308	
31M283-0084A	31D283-0084A	科学技術思想Ⅳ	岡本 拓司	2	A	水3	14-308	
31M283-0097A	31D283-0097A	科学哲学Ⅰ	オデイ, ジョン	2	A	火3	8-320	
31M283-0107A	31D283-0107A	科学哲学Ⅱ	石原 孝二	2	A	火2	14-708	
31M283-0157A	31D283-0157A	科学技術基礎論Ⅲ	鈴木 貴之	2	A	木3	14-708	
31M283-0167A	31D283-0167A	科学技術基礎論Ⅳ	藤川 直也	2	A	金2	14-708	
31M283-0220A	31D283-0220A	場の量子論Ⅱ	大川 祐司	2	A	金5	16-827	理学系合併
31M283-0370A	31D283-0370A	凝縮系の物性Ⅰ	前田 京剛	2	A	水2	16-109	学部合併
31M283-0400A	31D283-0400A	凝縮系の物性Ⅳ	深津 晋	2	A	月2	16-827	
31M283-0430A	31D283-0430A	応用計測学Ⅱ	酒井 邦嘉	2	A	木3	16-119/129	学部合併
31M283-0560A	31D283-0560A	分子機能学Ⅰ	桐谷 乃輔 岩井 智弘	2	A	火2	16-827	
31M283-0970A	31D283-0970A	量子力学GⅡ	岸根 順一郎	2	A	木4	5-512	学部合併
31M283-1110A	31D283-1110A	関連基礎科学特別講義Ⅰ	矢貝 史樹	2	A	集中	16-827	学部合併
31M283-1481A	31D283-1481A	関連基礎科学特別講義Ⅲ	鈴木 晃仁	2	A	火4	法文1号館210教室	学部・人文社会系合併
	31D283-1500A	関連基礎科学特別講義Ⅴ	澤井 哲	2	A	-		ジョブ型インターンシップ科目 (博士課程対象)
31M283-1165A	31D283-1165A	関連基礎科学特殊講義Ⅳ	橋本 毅彦	2	A	水4	14-308	
31M283-1175A	31D283-1175A	関連基礎科学特殊講義Ⅴ	山口 哲	2	A	集中		
31M283-1185A	31D283-1185A	関連基礎科学特殊講義Ⅵ	坂田 綾香	2	A	集中	12-1221	学部合併
31M283-1205A	31D283-1205A	関連基礎科学特殊講義Ⅷ	三澤 貴宏	2	A	集中	5-511	学部合併
31M283-1215A	31D283-1215A	関連基礎科学特殊講義Ⅸ	宇治 進也	2	A	水5	5-521	学部合併
31M283-1235A	31D283-1235A	関連基礎科学特殊講義ⅩⅠ	山下 誠	2	A	集中		学部合併
31M283-1244A	31D283-1244A	関連基礎科学特殊講義ⅩⅡ	鳥谷部 祥一	2	A	集中		
	31D283-1440A	関連基礎科学特殊講義ⅣⅤ	澤井 哲	1	A	-		ジョブ型インターンシップ科目 (博士課程対象)
31M283-1250A		関連基礎科学特殊研究Ⅰ	各教員	2	A			
31M283-1260A		関連基礎科学特殊研究Ⅱ	各教員	2	A			
31M283-1270A		関連基礎科学特殊研究Ⅲ	各教員	2	A			
31M283-1280A		関連基礎科学特殊研究Ⅳ	各教員	2	A			
31M283-1610A		関連基礎科学特殊演習Ⅰ	各教員	2	A			
31M283-1620A		関連基礎科学特殊演習Ⅱ	各教員	2	A			
31M283-1630A		関連基礎科学特殊演習Ⅲ	各教員	2	A			
31M283-1640A		関連基礎科学特殊演習Ⅳ	各教員	2	A			
31M283-1310A		関連基礎科学演習Ⅰ	各教員	2	A			
31M283-1320A		関連基礎科学演習Ⅱ	各教員	2	A			
	31D283-2010A	広域科学特別研究Ⅰ	各教員	2	A			博士1年・必修
	31D283-2020A	広域科学特別研究Ⅱ	各教員	2	A			博士2年・必修
	31D283-2030A	広域科学特別研究Ⅲ	各教員	2	A			博士3年・必修
	31D283-3010A	広域科学特別演習Ⅰ	各教員	1	A			博士1年(Aグループ以外のグループでは必修)
	31D283-3020A	広域科学特別演習Ⅱ	各教員	1	A			博士2年(Aグループ以外のグループでは必修)
	31D283-3030A	広域科学特別演習Ⅲ	各教員	1	A			博士3年(Aグループ以外のグループでは必修)

1. 時間・教室が空欄のものは、授業担当教員に確認すること。

※時間割変更(曜限・教室変更等)や集中講義については、総合文化大学院チームホームページ(<https://www.c.u-tokyo.ac.jp/graduate/>)に掲載しますので参照してください。
また、Aセメスター(A1・A2ターム)開講科目の曜限、教室については、Aセメスター開講前に総合文化研究科ホームページに掲載します。

2023年度時間割(大学院総合文化研究科)

広域科学専攻(関連基礎科学系)

2. 修士課程の「関連基礎科学特殊研究Ⅰ～Ⅳ」の計8単位、「関連基礎科学演習Ⅰ・Ⅱ」の計4単位は必修科目なので必ず履修すること。
また、「関連基礎科学特殊演習Ⅰ～Ⅳ」の計8単位は科学技術基礎論大講座(Aグループ)以外では必ず履修すること。(「関連基礎科学特殊演習」は科学技術基礎論大講座では開講されない。)なお、上記科目の履修に際しては、以下に留意すること。
 - ・「関連基礎科学特殊研究Ⅱ」は、「同研究Ⅰ」の単位を取得した者のみ履修可。「関連基礎科学特殊演習Ⅱ」は、「同演習Ⅰ」の単位を取得した者のみ履修可。
 - ・「関連基礎科学特殊研究Ⅲ」は、「同研究Ⅱ」の単位を取得した者のみ履修可。「関連基礎科学特殊演習Ⅲ」は、「同演習Ⅱ」の単位を取得した者のみ履修可。
 - ・「関連基礎科学特殊研究Ⅳ」は、「同研究Ⅲ」の単位を取得した者のみ履修可。「関連基礎科学特殊演習Ⅳ」は、「同演習Ⅲ」の単位を取得した者のみ履修可。
 - ・「関連基礎科学演習Ⅰ・Ⅱ」の予定、割り当てなどについては関連基礎科学系の掲示板等で確認すること。
3. 博士後期課程の「広域科学特別研究Ⅰ～Ⅲ」の計12単位は必修科目なので必ず履修すること。また、「広域科学特別演習Ⅰ～Ⅲ」の計6単位は科学技術基礎論大講座(Aグループ)以外では必ず履修すること。(「広域科学特別演習」は科学技術基礎論大講座では開講されない。)
「広域科学特別研究」「広域科学特別演習」は、1つの科目名につき2つのセメスターを使って履修する。よって、1つの科目名につき、それぞれのセメスターで1度ずつ、計2度履修することとなる。
4. 日程が決まっていない集中講義については、日程が決まり次第掲示により周知する。
5. 教室欄の○-○○○は、(号館)-(部屋番号)を表す。

2023年度時間割(大学院総合文化研究科)

「人間の安全保障」プログラム

時間割番号		科目名	担当教員	単位	学期	曜限	教室	備考
修士	博士							
31M290-0020A	31D290-0020A	人間の安全保障基礎論Ⅱ	星 埜 守之	2	A	水5	8-113	
31M290-0030A	31D290-0030A	紛争と和解・共生Ⅰ	黛 秋津	2	A	月3	14-501A	
31M290-0050A	31D290-0050A	平和プロセスと国際協力Ⅰ	遠藤 貢	2	A	月4	1-120	学部合併
31M290-0071A	31D290-0071A	文化エコロジーⅠ	三ツ井 崇	2	A	月5	8-206	
31M290-0400A	31D290-0400A	難民と移民Ⅰ	山本 哲史	2	A	金5	8-317	
31M290-0420A	31D290-0420A	統治と規範Ⅰ	阪本 拓人	2	A	金3	11-1103	
31M290-0430A	31D290-0430A	統治と規範Ⅱ	榎本 珠良	2	A	金2	21KOMCEE East K211	学部合併
31M290-0101A	31D290-0101A	社会の自立と共同Ⅱ	齋藤 渉	2	A	火5	8-320	
31M290-0120A	31D290-0120A	生命と尊厳Ⅱ	早尾 貴紀	2	A	月4	8-321	
31M290-0160A	31D290-0160A	生存とライフスキルⅡ	瀬地山 角	2	A	月5	8-209	
31M290-0170A	31D290-0170A	サステナビリティの戦略Ⅰ	齋藤 幸平	2	A	木2	14-708	
31M290-0172A	31D290-0172A	サステナビリティの戦略Ⅰ	北村 友人	2	A1	月1・月2	8-210	教育学・新領域創成科学 合併
31M290-0197A	31D290-0197A	人間の安全保障演習Ⅰ	野田 真里	2	A	金3	8-113	学部合併
31M290-0201A	31D290-0201A	人間の安全保障演習Ⅱ	西村 弓	2	A	金2	5-534	
31M290-0215A	31D290-0215A	人間の安全保障演習Ⅲ	大塚 修	2	A	月2	14-605	
31M290-0222A	31D290-0222A	人間の安全保障演習Ⅳ	谷垣 真理子	2	A	水2	8-320	
31M290-0224A	31D290-0224A	人間の安全保障演習Ⅳ	関谷 雄一	2	A	集中		
31M290-0225A	31D290-0225A	人間の安全保障演習Ⅳ	佐藤 俊樹	2	A	水5	5-517	
31M290-0227A	31D290-0227A	人間の安全保障演習Ⅳ	鶴見 太郎	2	A	水2	8-207	
31M290-0230A	31D290-0230A	人間の安全保障演習Ⅴ	岡本 拓司	2	A	水3	14-308	
31M290-0231A	31D290-0231A	人間の安全保障演習Ⅴ	廣野 喜幸	2	A	金3	14-308	
31M290-0235A	31D290-0235A	人間の安全保障演習Ⅴ	石原 孝二	2	A	火2	14-708	
31M290-0240A	31D290-0240A	人間の安全保障演習Ⅵ	中西 徹	2	A	金5	8-206	経済学合併
31M290-0246A	31D290-0246A	人間の安全保障演習Ⅵ	受田 宏之	2	A	水3	8-324	
31M290-0250A	31D290-0250A	人間の安全保障演習Ⅶ	高橋 史子	2	A	水2	21KOMCEE West K401	
31M290-0251A	31D290-0251A	人間の安全保障演習Ⅶ	大石 紀一郎	2	A	月2	8-418	
31M290-0254A	31D290-0254A	人間の安全保障演習Ⅶ	傳 凱儀	2	A	木5	8-112	
31M290-0370A	31D290-0370A	人間の安全保障演習Ⅹ	キハラハント 愛	2	A	木2	8-209	
31M290-0273A	31D290-0273A	人間の安全保障実験実習Ⅰ	関谷 雄一	2	A	集中		
31M290-0300A	31D290-0300A	人間の安全保障実験実習Ⅳ	阪本 拓人	2	A	金4	情報教育棟 E35	学部合併

1. 時間・教室が空欄のものは、授業担当教員に確認すること。
2. 日程が決まっていない集中講義については、日程が決まり次第掲示により周知する。
3. 教室欄の○-○○○は、(号館)-(部屋番号)を表す。

2023年度時間割(大学院総合文化研究科)

欧州研究プログラム

時間割番号		科目名	担当教員	単位	学期	曜限	教室	備考
修士	博士							
31M310-5032A		欧州政治論	Jared Sonnicksen	2	A	木6	8-110	修士のみ 学部合併
31M310-5035A		欧州政治論	板橋 拓己	2	A	火5	法文1号館 B3 演習室	修士のみ 法学政治学合併
31M310-5062A		現代ドイツ基層論	平松 英人	2	A	火3	8-208	修士のみ 学部合併
31M310-5130A		欧州研究演習Ⅱ	川喜田 敦子 森井 裕一	2	A			修士のみ
31M310-5152A		欧州研究特別研究Ⅱ	小野塚 知二	2	A	水2	経済学研究科 棟204演習室	修士のみ 経済学合併
31M310-5172A		欧州研究特別研究Ⅳ	伊藤 武	2	A	木3	8-321	修士のみ 法学政治学合併
31M310-5175A		欧州研究特別研究Ⅳ	中山 洋平	2	A	金1	法文1号館 26 番教室	修士のみ 法学政治学・公共政策合併
31M310-5182A		欧州研究特別研究Ⅴ	竹峰 義和	2	A	月3	8-323	修士のみ
31M310-5185A		欧州研究特別研究Ⅴ	速水 淑子	2	A	金4	11-1103	修士のみ
31M310-5192A		欧州研究特別研究Ⅵ	芦部 彰	2	A	金4	法文1号館115教 室	修士のみ
31M310-5230A		欧州研究実験実習Ⅱ	川喜田 敦子 森井 裕一	2	A			修士のみ
31M310-5250A		欧州研究実験実習Ⅳ	川喜田 敦子 森井 裕一	2	A			修士のみ プログラム学生のみ

1. 時間・教室が空欄のものは、授業担当教員に確認すること。
2. 日程が決まっていない集中講義については、日程が決まり次第掲示により周知する。
3. 教室欄の〇-〇〇〇は、(号館)-(部屋番号)を表す。
4. 博士課程の学生の履修は認められないので注意すること。

2023年度時間割(大学院総合文化研究科)

多文化共生・統合人間学プログラム

時間割番号		科目名	担当教員	単位	学期	曜限	教室	備考
修士	博士							
31D370-0142A	31D370-0142A	多文化共生・統合人間学講義Ⅴ	Christopher D. Hammond	2	A	月4	1-114	
31D370-0152A	31D370-0152A	多文化共生・統合人間学講義Ⅵ	アンダル, ジャクリーン	2	A	木2	10-102	
31D370-0153A	31D370-0153A	多文化共生・統合人間学講義Ⅵ	アンダル, ジャクリーン	2	A	木3	10-102	
31D370-0170A	31D370-0170A	多文化共生・統合人間学講義Ⅷ	各教員	2	A			
31D370-0200A	31D370-0200A	多文化共生・統合人間学演習Ⅰ	田尻 芳樹	2	A	金4	8-113	
31D370-0210A	31D370-0210A	多文化共生・統合人間学演習Ⅱ	木村 俊昭	2	A	集中		
31D370-0213A	31D370-0213A	多文化共生・統合人間学演習Ⅱ	外村 大	2	A	金3	11-1107	
31D370-0221A	31D370-0221A	多文化共生・統合人間学演習Ⅲ	石原 孝二	2	A	火2	14-708	
31D370-0223A	31D370-0223A	多文化共生・統合人間学演習Ⅲ	松本 和子	2	A	水4	10-303	
31D370-0224A	31D370-0224A	多文化共生・統合人間学演習Ⅲ	渡邊 日日	2	A	金3	5-534	
31D370-0230A	31D370-0230A	多文化共生・統合人間学演習Ⅳ	園田 茂人	2	A	木6	8-208	学際情報学府合併
31D370-0232A	31D370-0232A	多文化共生・統合人間学演習Ⅳ	丹羽 美之	2	A	水3・水4	8-110	学際情報学府合併
31D370-0252A	31D370-0252A	多文化共生・統合人間学演習Ⅵ	岡本 拓司	2	A	水3	14-308	
31D370-0261A	31D370-0261A	多文化共生・統合人間学演習Ⅶ	前島 志保	2	A	水2	8-319	
31D370-0270A	31D370-0270A	多文化共生・統合人間学演習Ⅷ	逆井 聡人	2	A	木2	12-1224	
31D370-0291A	31D370-0291A	多文化共生・統合人間学演習Ⅹ	鈴木 啓之	2	A	火2	12-1233	
31D370-0301A	31D370-0301A	多文化共生・統合人間学演習ⅩⅠ	板津 木綿子	2	A	木2	福武ラーニングスタジオ3	学際情報学府合併
31D370-0401A	31D370-0401A	多文化共生・統合人間学実験実習Ⅰ	梶谷 真司	2	A	集中		
31D370-0500A		多文化共生・統合人間学特別研究Ⅰ	各教員	1	A			修士1年・必修
31D370-0510A		多文化共生・統合人間学特別研究Ⅱ	各教員	1	A			修士2年・必修
	31D370-0520A	多文化共生・統合人間学特別研究Ⅲ	各教員	1	A			博士1年・必修
	31D370-0530A	多文化共生・統合人間学特別研究Ⅳ	各教員	1	A			博士2年・必修
	31D370-0540A	多文化共生・統合人間学特別研究Ⅴ	各教員	1	A			博士3年・必修

1. 時間・教室が空欄のものは、授業担当教員に確認すること。
2. 日程が決まっていない集中講義については、日程が決まり次第掲示により周知する。
3. 教室欄の○-○○○は、(号館)-(部屋番号)を表す。

2023年度時間割(大学院総合文化研究科)

Graduate Program on Global Society

時間割番号		科目名	担当教員	単位	学期	曜限	教室	備考
修士	博士							
31M350-0012A	31D350-0012A	International Interdependence	SUZUKI Sanae	2	A	金2	21KOMCEE West K302	Core Course
31M350-0031A	31D350-0031A	Transnational Markets and Civil Society	KARTIKA Diana	2	A	木3	8-112	Core Course
31M350-0050A	31D350-0050A	Research Workshop I	Academic Advisor(s)	2	A	火5	8-110	Only for Program Students
31M350-0060A	31D350-0060A	Research Workshop II	Academic Advisor(s)	2	A	火5	8-110	Only for Program Students
31M350-0070A	31D350-0070A	Research Workshop III	Academic Advisor(s)	2	A	火5	8-110	Only for Program Students
31M350-0180A	31D350-0180A	Theory of Social and Cultural Diversity III	TAKAHASHI Fumiko	2	A	水2	21KOMCEE West K401	
31M350-0201A	31D350-0201A	Comparative Studies of Social and Cultural Diversity I	O'DEA John	2	A	火3	8-320	
31M350-0234A	31D350-0234A	Comparative Studies of Social and Cultural Diversity IV	HISANO Ai	2	A	火2	ダイワエビキタス 学術研究館2階 204実験室	学際情報学府合併
31M350-0271A	31D350-0271A	Theory of Transnational Markets and Civil Society IV	SMITH, Rodney	2	A	木2	8-112	
31M350-0294A	31D350-0294A	History of Transnational Markets and Civil Society II	YAGUCHI Yujin	2	A	水3	5-534	学際情報学府合併
31M350-0300A	31D350-0300A	History of Transnational Markets and Civil Society III	BAXTER, Joshua	2	A	水2	8-321	
31M350-0333A	31D350-0333A	Theory of Normativity in Global Society II	NODA Masato	2	A	金3	8-113	学部合併
31M350-0340A	31D350-0340A	Theory of Normativity in Global Society III	GIRAUDOU, Isabelle	2	A	金2	21KOMCEE West K301	学部合併
31M350-0350A	31D350-0350A	Theory of Normativity in Global Society IV	KIHARA-HUNT Ai	2	A	木2	8-209	
31M350-0372A	31D350-0372A	Comparative Studies of the Normative Basis of Civil Society II	USHIJIMA Hitoshi	2	A	水4	1-119	学部合併
31M350-0380A	31D350-0380A	Comparative Studies of the Normative Basis of Civil Society III	KITAMURA Yuto	2	A1	月1・月2	8-210	教育学・新領域創成科学 合併
31M350-0412A	31D350-0412A	Special Lecture on Global Society II	ITATSU Yuko	2	A	木2	福武ラーニング スタジオ3	学際情報学府合併
31M350-0441A	31D350-0441A	Seminar on Global Society I	CAPEL, Mathieu	2	A	水4	1-120	
31M350-0490A	31D350-0490A	Experimental Studies on Global Society I	Academic Advisor(s)	2	A	-		Only for Program Students
31M350-0500A	31D350-0500A	Experimental Studies on Global Society II	Academic Advisor(s)	2	A	-		Only for Program Students

※時間割変更(曜限・教室変更等)や集中講義については、総合文化大学院チームホームページ(<https://www.c.u-tokyo.ac.jp/graduate/>)に掲載しますので参照してください。
また、Aセメスター(A1・A2ターム)開講科目の曜限、教室については、Aセメスター開講前に総合文化研究科ホームページに掲載します。

2023年度時間割(大学院総合文化研究科)

Graduate Program on Environmental Sciences

時間割番号		科目名	担当教員	単位	学期	曜限	教室	備考
修士	博士							
31M360-0010A	31D360-0010A	Foundations of Environmental Sciences I	OKAMOTO Takuji ISHIHARA Kohji MIMURA Taro	2	A	火4	21KOMCEE West K201	学部合併
31M360-0090A	31D360-0090A	Environmental Management and Policy II	YAMAGUCHI Rintaro	2	A	水5	21KOMCEE East K114	
31M360-0092A	31D360-0092A	Environmental Management and Policy II	GIRAUDOU, Isabelle	2	A	金2	21KOMCEE West K301	
31M360-0100A	31D360-0100A	Environmental Management and Policy III	NISHIMURA Kinya TAKADA Takenori	2	A	集中		
31M360-0113A	31D360-0113A	Environmental Management and Policy IV	USHIJIMA Hitoshi	2	A	水4	1-119	
31M360-0185A	31D360-0185A	Environmental Measurement and Evaluation IV	SHEFFERSON, Richard	2	A	木3	8-206	
31M360-0200A	31D360-0200A	Environmental Measurement and Evaluation VI	BARZA, Sorina	2	A	水2	21KOMCEE West K303	学部合併
31M360-0280A	31D360-0280A	Materials, Systems and Dynamics IV	HIRAOKA Shuichi SUMINO Hirochika	2	A	集中		
31M360-0360A	31D360-0360A	Energy Technology and Natural Resources III	MASUDA Tatsuru	2	A	金3	5-518	学部合併
31M360-0440A	31D360-0440A	Health and Security III	FUKUI Naoshi TAKESHITA Daisuke	2	A	火2		
31M360-0460A	31D360-0460A	Health and Security V	OGUCHI Takashi	2	A2	火4・金4	生産研 総合研 実験棟(A5棟) 301 302	
31M360-0510A		Special Masters Seminar I	Each Academic Adviser	2	A			
31M360-0520A		Special Masters Seminar II	Each Academic Adviser	2	A			
31M360-0530A		Special Masters Seminar III	Each Academic Adviser	2	A			
31M360-0540A		Special Masters Seminar IV	Each Academic Adviser	2	A			
31M360-0550A		Special Masters Research Work I	Each Academic Adviser	2	A			
31M360-0560A		Special Masters Research Work II	Each Academic Adviser	2	A			
31M360-0570A		Special Masters Research Work III	Each Academic Adviser	2	A			
31M360-0580A		Special Masters Research Work IV	Each Academic Adviser	2	A			
	31D360-0590A	Special Doctoral Seminar I	Each Academic Adviser	1	A			
	31D360-0600A	Special Doctoral Seminar II	Each Academic Adviser	1	A			
	31D360-0610A	Special Doctoral Seminar III	Each Academic Adviser	1	A			
	31D360-0620A	Special Doctoral Seminar IV	Each Academic Adviser	1	A			
	31D360-0630A	Special Doctoral Seminar V	Each Academic Adviser	1	A			
	31D360-0640A	Special Doctoral Seminar VI	Each Academic Adviser	1	A			
	31D360-0650A	Special Doctoral Research Work I	Each Academic Adviser	2	A			
	31D360-0660A	Special Doctoral Research Work II	Each Academic Adviser	2	A			
	31D360-0670A	Special Doctoral Research Work III	Each Academic Adviser	2	A			
	31D360-0680A	Special Doctoral Research Work IV	Each Academic Adviser	2	A			
	31D360-0690A	Special Doctoral Research Work V	Each Academic Adviser	2	A			
	31D360-0700A	Special Doctoral Research Work VI	Each Academic Adviser	2	A			

Notes:

Only one of the Special Seminars and one of the Special Research Work courses can be taken in each semester, according to the following sequence:

Masters: I, II → III, IV

Doctoral: I, II → III, IV → V, VI

2023年度時間割(大学院総合文化研究科)

グローバル・スタディーズ・イニシアティヴ国際卓越大学院

時間割番号		科目名	担当教員	単位	学期	曜限	教室	備考
修士	博士							
31M390-0110A	31D390-0110A	研究技法トレーニング I	加治屋 健司	2	A	火2	8-323	
31M390-0115A	31D390-0115A	研究技法トレーニング I	郷原 佳以	2	A	火3	8-321	
31M390-0122A	31D390-0122A	研究技法トレーニング II	田中 伸一	2	A	金3	8-112	
31M390-0123A	31D390-0123A	研究技法トレーニング II	倉田 博史	2	A	月5	8-205	
31M390-0130A	31D390-0130A	研究技法トレーニング III	大塚 修	2	A	月2	14-605	
31M390-0132A	31D390-0132A	研究技法トレーニング III	カペル, マチュー	2	A	木2	8-323	
31M390-0140A	31D390-0140A	研究技法トレーニング IV	清水 剛	2	A	水4	5-515	
31M390-0141A	31D390-0141A	研究技法トレーニング IV	佐藤 俊樹	2	A	水5	5-517	
31M390-0142A	31D390-0142A	研究技法トレーニング IV	内山 融	2	A	月3	8-208	
31M390-0152A	31D390-0152A	研究技法トレーニング V	橋本 摂子	2	A	火4	8-206	
31M390-0212A	31D390-0212A	グローバル・スタディーズ俯瞰論 I	広瀬 友紀	2	A	金5	8-315	
31M390-0230A	31D390-0230A	グローバル・スタディーズ俯瞰論 III	鶴見 太郎	2	A	水2	8-207	
31M390-0311A	31D390-0311A	グローバル・スタディーズ解析論 I	渡邊 淳也	2	A	水3	8-210	
31M390-0320A	31D390-0320A	グローバル・スタディーズ解析論 II	國分 功一郎	2	A	金4	EAAセミナー室 (101-11号室)	
31M390-0330A	31D390-0330A	グローバル・スタディーズ解析論 III	土屋 和代	2	A	木2	8-210	
31M390-0340A	31D390-0340A	グローバル・スタディーズ解析論 IV	馬路 智仁	2	A	金3	11-1109	
	31D390-0410A	グローバル・スタディーズ実験実習	カペル, マチュー	2	A	集中		
	31D390-0510A	グローバル・スタディーズ教育演習	伊達 聖伸	2	A			
	31D390-0610A	グローバル・スタディーズ国際共同 研究実習	受田 宏之	2	A			
31M390-1200A	31D390-1200A	研究技法トレーニング V-A	津田 浩司	1	A1	月2	8-112	
31M390-1201A	31D390-1201A	研究技法トレーニング V-A	藏本 龍介	1	A1	水2	8-112	
31M390-1210A	31D390-1210A	研究技法トレーニング V-B	中村 沙絵	1	A2	月3	8-207	

1. 時間・教室が空欄のものは、授業担当教員に確認すること。
2. 日程が決まっていない集中講義については、日程が決まり次第掲示により周知する。
3. 教室欄の○-○○○は、(号館)-(部屋番号)を表す。
4. 「Supervised Readings I～IV」のうちどれか1科目を入学年度のSセメスターに必ず履修すること。

2023年度時間割(大学院総合文化研究科)

先進基礎科学推進国際卓越大学院

時間割番号		科目名	担当教員	単位	学期	曜限	教室	備考
修士	博士							
31M400-0020A	31D400-0020A	アカデミック・ライティングⅡ	森畑 明昌	2	A	集中		プログラム生のみ
31M400-0040A	31D400-0040A	アカデミック・ライティングⅣ	森畑 明昌	2	A	集中		プログラム生のみ
31M400-0060A	31D400-0060A	アカデミック・ライティングⅥ	森畑 明昌	2	A	集中		プログラム生のみ
31M400-0080A	31D400-0080A	アカデミック・ライティングⅧ	森畑 明昌	2	A	集中		プログラム生のみ
31M400-0100A	31D400-0100A	アカデミック・ライティングⅩ	森畑 明昌	2	A	集中		プログラム生のみ
31M400-0120A		先進基礎科学セミナーⅡ	吉本 敬太郎	2	A	集中		修士のみ プログラム生のみ
31M400-0140A		先進基礎科学セミナーⅣ	吉本 敬太郎	2	A	集中		修士のみ プログラム生のみ
	31D400-0160A	先進基礎科学セミナーⅥ	吉本 敬太郎	2	A	集中		博士のみ プログラム生のみ
	31D400-0180A	先進基礎科学セミナーⅧ	吉本 敬太郎	2	A	集中		博士のみ プログラム生のみ
	31D400-0200A	先進基礎科学セミナーⅩ	吉本 敬太郎	2	A	集中		博士のみ プログラム生のみ
31M400-0220A	31D400-0220A	先進基礎科学演習Ⅱ	豊田 太郎	2	A	集中		プログラム生のみ
31M400-0240A	31D400-0240A	先進基礎科学演習Ⅳ	豊田 太郎	2	A	集中		プログラム生のみ
31M400-0260A	31D400-0260A	先進基礎科学演習Ⅵ	豊田 太郎	2	A	集中		プログラム生のみ
31M400-0280A	31D400-0280A	先進基礎科学演習Ⅷ	豊田 太郎	2	A	集中		プログラム生のみ
31M400-0300A	31D400-0300A	先進基礎科学演習Ⅹ	豊田 太郎	2	A	集中		プログラム生のみ
31M400-0320A	31D400-0320A	先進基礎科学ゼミナールⅡ	加藤 雄介	2	A	集中		プログラム生のみ
31M400-0340A	31D400-0340A	先進基礎科学ゼミナールⅣ	加藤 雄介	2	A	集中		プログラム生のみ
31M400-0360A	31D400-0360A	先進基礎科学ゼミナールⅥ	加藤 雄介	2	A	集中		プログラム生のみ
31M400-0380A	31D400-0380A	先進基礎科学ゼミナールⅧ	加藤 雄介	2	A	集中		プログラム生のみ
31M400-0400A	31D400-0400A	先進基礎科学ゼミナールⅩ	加藤 雄介	2	A	集中		プログラム生のみ
31M400-0420A	31D400-0420A	先進基礎実験科学Ⅱ	鳥谷部 祥一	2	A	集中		
31M400-0500A	31D400-0500A	先進基礎データ科学Ⅱ	坂田 綾香	2	A	集中	12-1221	
31M400-0540A	31D400-0540A	基礎科学修学Ⅱ	松田 恭幸	2	A	集中		プログラム生のみ

1. 時間・教室が空欄のものは、授業担当教員に確認すること。
2. 日程が決まっていない集中講義については、日程が決まり次第掲示により周知する。
3. 教室欄の○-○○○は、(号館)-(部屋番号)を表す。
4. 本プログラムの修了までに、共通科目「アカデミック・ライティング」「先進基礎科学セミナー」「先進基礎科学演習」「先進基礎科学ゼミナール」をいずれも2単位以上を修得し、それらを含む14単位以上を修得すること。
また、履修にあたって以下の点に注意すること。
 - (1) 14単位のうち6単位以上を修士課程修了までに修得する。
 - (2) 共通科目は、いずれも順に履修する必要はなく、また連続して履修する必要もない。
 - (3) いずれの共通科目も各セメスターで履修できる科目はそれぞれ1つまでとする。

2023年度時間割(大学院総合文化研究科)

科学技術インタープリター養成プログラム

時間割番号		科目名	担当教員	単位	学期	曜限	教室	備考
修士	博士							
31M300-0011A	31M300-0011A	科学技術インタープリター論Ⅰ	川越 至桜 他	2	A	火5	8-420	必修 プログラム学生のみ
31M300-0041A	31M300-0041A	科学技術コミュニケーション基礎論Ⅰ	廣野 喜幸 他	2	A	金5	8-112	必修 プログラム学生のみ
31M300-0131A	31M300-0131A	科学技術表現論Ⅰ	大島 まり 他	2	A	水5	工学部新2号館9階92B	プログラム学生のみ 学部・学際情報学府合併
31M300-0201A	31M300-0201A	科学技術インタープリター特論Ⅱ	内田 麻理香	2	A	木4	12-1211	プログラム学生のみ 学部合併
31M300-0211A	31M300-0211A	科学技術インタープリター特論Ⅲ	定松 淳	2	A	月4	12-1211	プログラム学生のみ 学部合併
31M300-0341A	31M300-0341A	科学技術表現実験実習Ⅰ	川越 至桜	2	A	木5	21KOMCEE West K401	選択必修 プログラム学生のみ 学部・学際情報学府合併
31M300-1021A	31M300-1021A	科学技術インタープリター研究指導Ⅱ	定松 淳 内田 麻理香	2	A	月5	8-208	必修・プログラム学生のみ
31M300-2021A	31M300-2021A	科学技術インタープリター特別研究Ⅱ	各教員	2	A			必修・プログラム学生のみ

1. 時間・教室が空欄のものは、授業担当教員に確認すること。
2. 日程が決まっていない集中講義については、日程が決まり次第掲示により周知する。
3. 教室欄の○-○○○は、(号館)-(部屋番号)を表す。
4. 科学技術インタープリター養成プログラム受講生以外は履修を認められません。

日独共同大学院プログラム

時間割番号		科目名	担当教員	単位	学期	曜限	教室	備考
修士	博士							
	31D320-6010A	日独研究論Ⅱ	梶谷 真司・川喜田 敦子・平松 英人	2	A	火4	8-418	プログラム学生のみ
	31D320-6020A	日独研究特別研究Ⅰ	梶谷 真司 川喜田 敦子	2	A	木6	8-110	プログラム学生のみ
	31D320-6021A	日独研究特別研究Ⅰ	平松 英人	2	A	火3	8-208	プログラム学生のみ 学部合併
	31D320-6030A	日独研究特別研究Ⅱ	梶谷 真司 川喜田 敦子	2	A			プログラム学生のみ
	31D320-6040A	日独研究演習Ⅰ	川喜田 敦子	2	A			プログラム学生のみ
	31D320-6050A	日独研究演習Ⅱ	川喜田 敦子	2	A			プログラム学生のみ
	31D320-6060A	日独研究実験実習	川喜田 敦子	2	A			プログラム学生のみ

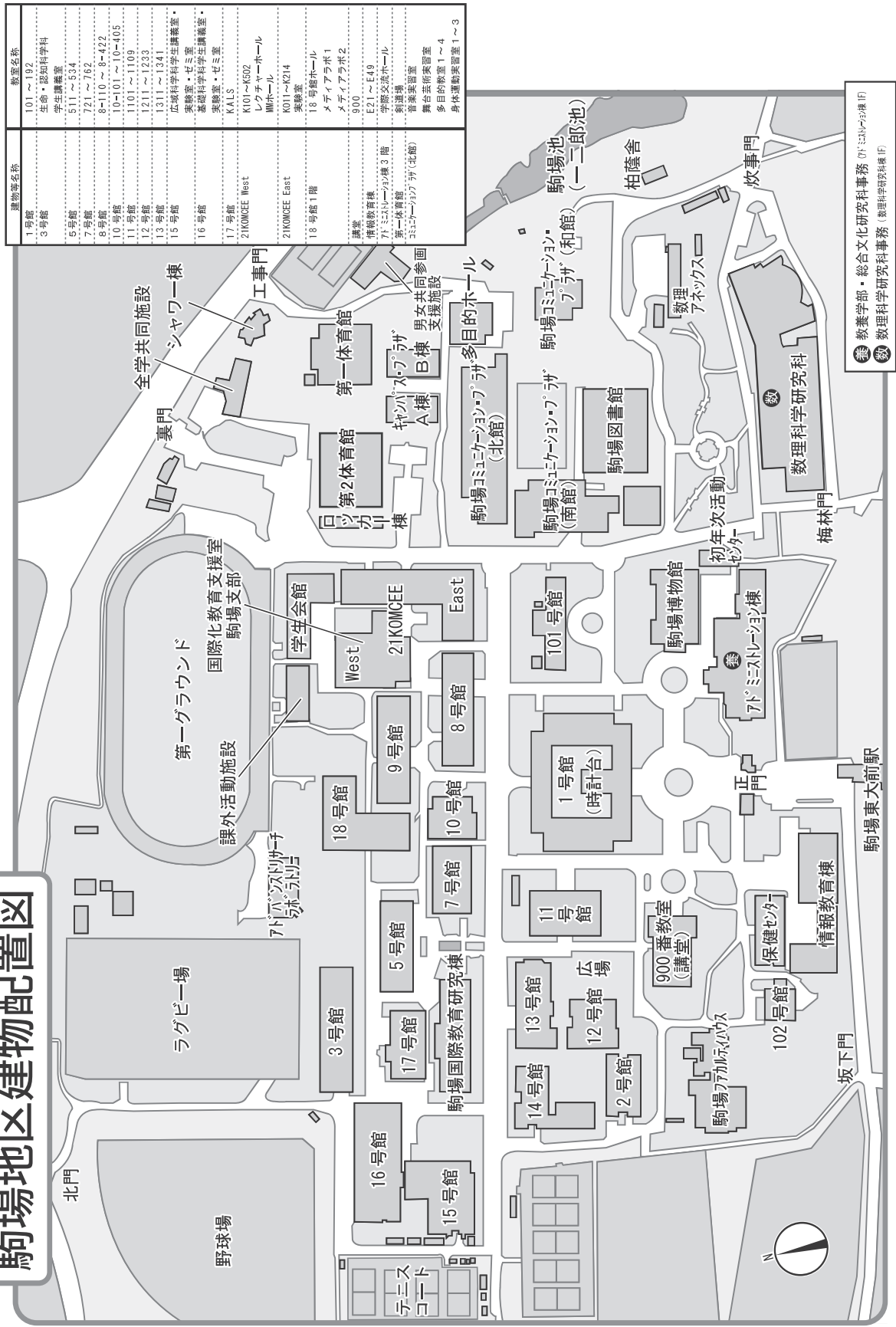
1. 時間・教室が空欄のものは、授業担当教員に確認すること。
2. 日程が決まっていない集中講義については、日程が決まり次第掲示により周知する。
3. 教室欄の○-○○○は、(号館)-(部屋番号)を表す。
4. 日独共同大学院プログラム受講生以外は履修を認められません。

英語教育プログラム

時間割番号		科目名	担当教員	単位	学期	曜限	教室	備考
修士	博士							
	31D380-0020A	第二言語習得論特別講義	広瀬 友紀	2	A	金3	12-1233	プログラム学生のみ
	31D380-0100A	英語協同学習論演習	大石 和欣	2	A	月4	8-324	プログラム学生のみ
	31D380-0073A	TA演習Ⅱ	オデイ, ジョン	1	A	月1	8-320	プログラム学生のみ

1. 時間・教室が空欄のものは、授業担当教員に確認すること。
2. 日程が決まっていない集中講義については、日程が決まり次第掲示により周知する。
3. 教室欄の○-○○○は、(号館)-(部屋番号)を表す。
4. 英語教育プログラム受講生以外は履修を認められません。

駒場地区建物配置図



●養 教養学部・総合文化研究科事務 (アドミニストレーション棟1F)